

第1章 教務

東京女子大学履修規程

(2003年1月8日制定)

改正	2004年 1月 21日	2011年 7月 6日	2019年 3月 12日	2026年 3月 12日
	2004年 6月 30日	2012年 3月 12日	2019年 12月 18日	
	2005年 1月 26日	2013年 2月 28日	2020年 2月 28日	
	2006年 2月 17日	2014年 3月 11日	2020年 7月 15日	
	2006年 7月 5日	2014年 7月 17日	2020年 11月 11日	
	2007年 3月 1日	2015年 3月 11日	2021年 3月 22日	
	2009年 3月 3日	2016年 3月 11日	2022年 2月 28日	
	2010年 2月 14日	2016年 4月 7日	2023年 5月 17日	
	2010年 6月 23日	2018年 3月 1日	2024年 3月 8日	
	2011年 4月 1日	2019年 2月 6日	2025年 3月 14日	

第1章 総則

(目的)

第1条 この規程は、東京女子大学(以下「本学」という。))における履修に関する事項を定めることを目的とする。

第2章 履修の方法

(履修の方法)

第2条 履修する授業科目は、教育課程及びこの規程に従い、各人が決定するものとする。

第3条 卒業までに単位を修得しなければならない科目と単位数については、別表第1ア又はイ(卒業に必要な最低単位数)及び別表第1の2(履修要件)に定める。

2 自由選択科目は、別表第1ア又はイ第9号の定めにより履修する。

第4条 履修する授業科目は、登録しなければならない。

2 同一授業科目が複数クラス開講されている場合は、履修するクラスも含め登録しなければならない。

3 履修登録を行わない授業科目は、単位を修得することができない。

第5条 履修登録を行った授業科目は、責任をもって履修しなければならない。

第5条の2 授業科目は、履修者数によって閉講することがある。

第6条 履修に関して、アドバイザーの助言を受けることができる。

(履修登録単位数)

第7条 1学期の履修登録単位数は、原則として1単位以上とする。ただし、第31条又は第32条に基づき当該学期のすべての授業科目の登録を取消した場合については、この限りではない。

2 第29条及び第30条に基づく登録の訂正、削除、変更等の結果、1学期の登録単位数を0単位とすることは認めない。

第8条 年間の履修登録単位数は、原則として40単位以下とする。ただし、第44条に基づき算出された前年度のGPA(Grade Point Average/成績平均点数)が3.0以上である者は、40単位を超えて履修することができる。

第8条の2 1学期の履修登録単位数は、原則として24単位以下とする。ただし、第44条に基づき算出された前年度のGPA(Grade Point Average/成績平均点数)が3.0以上である者は、24単位を超えて履修することができる。

第9条 次の科目は、第8条に定める40単位外及び第8条の2に定める24単位外で履修することができる。

心理学教科目	心理演習、心理実習
--------	-----------

教職課程科目	各教科の指導法、教育課程論、道德教育の理論と方法、総合的な学習(探究)の時間の指導法、特別活動論、生徒・進路指導論、教育相談、教育方法論(ICTの活用を含む)、教育実習事前事後指導、教育実習、教職実践演習(中・高)
学芸員課程科目	博物館実習 1、博物館実習 2、博物館実習 3

2 編入学者及び学士入学者は、教職課程科目及び学芸員課程科目の全科目を第 8 条に定める 40 単位外及び第 8 条の 2 に定める 24 単位外で履修することができる。

第 10 条 次の各号の授業科目の単位は、第 8 条に定める 40 単位及び第 8 条の 2 に定める 24 単位に含むものとする。

(1) 他学科の学科科目の単位

(2) 本学と日本国内の他の大学との協定に基づき、当該大学において履修する授業科目の単位のうち次のもの

ア 武蔵野地域 5 大学(亜細亜大学、成蹊大学、東京女子大学、日本獣医生命科学大学、武蔵野大学)の単位互換協定に基づき、本学以外の各大学において履修する授業科目の単位

イ 東京外国語大学との単位互換協定に基づき、東京外国語大学において履修する授業科目の単位

ウ 国際基督教大学との単位互換協定に基づき、国際基督教大学において履修する授業科目の単位

(3) 再履修する授業科目の単位

(4) 前期末に不合格となった授業科目の単位

第 11 条 次の各号の授業科目の単位は、第 8 条に定める 40 単位及び第 8 条の 2 に定める 24 単位には含まないものとする。

(1) 第 29 条及び第 30 条に基づき履修登録を削除した授業科目の単位

(2) 第 31 条に基づき休学により履修登録を取消した授業科目の単位

(3) 第 32 条及び第 33 条に基づきやむをえない事由により履修登録を取消した授業科目の単位

(4) 第 34 条に基づき学外学修の単位認定により履修登録を取消した授業科目の単位

2 第 60 条第 1 項第 1 号ウ、第 2 号、第 3 号、第 4 号、第 5 号、第 6 号に基づき認定された単位は、第 8 条に定める 40 単位及び第 8 条の 2 に定める 24 単位には含まないものとする。

3 第 61 条に基づき認定された単位は、第 8 条に定める 40 単位及び第 8 条の 2 に定める 24 単位には含まないものとする。

第 12 条 1 年次に履修する自学科科目の単位数は、20 単位以下とする。

(履修年次)

第 13 条 必修科目及び選択必修科目は、教育課程に示された履修年次に履修し、その単位を修得しなければならない。ただし、不合格、留学、休学、編入学、学士入学等の理由で履修を要する場合は、この限りではない。

2 指定された履修年次に単位を修得できなかった必修科目及び選択必修科目は、原則として、次の学期又は学年に再履修しなければならない。ただし、当該授業科目の再履修によらず、他の授業科目の履修をもってその必修要件を満たす場合は、この限りではない。

3 前期又は後期に履修クラスが指定されている必修科目及び選択必修科目については、前期の科目を同一年度の後期に再履修することはできない。

第 14 条 選択科目は、原則として、教育課程に示された履修年次以上の者が、履修することができる。ただし、当年度の指定により、履修年次が限定されている授業科目については、示された履修年次以外の者は、履修することができない。

(履修学科の指定)

第 15 条 教育課程に学科又は専攻の指定が示されている授業科目については、指定された学科又は専攻以外の者は履修することができない。

(他学科の学科科目の履修)

第16条 他学科の学科科目は、設置する学科の定める履修条件に従い、履修することができる。

第17条 削除

(単位互換協定に基づく他大学の授業科目の履修)

第18条 次の各号の単位互換協定に基づき、本学以外の各大学において開講する授業科目は、在学中に合わせて16単位を超えない範囲で履修することができる。

- (1) 武蔵野地域5大学(亜細亜大学、成蹊大学、東京女子大学、日本獣医生命科学大学、武蔵野大学)の単位互換協定(2年次以上の学生対象)
- (2) 東京外国語大学との単位互換協定(3年次以上の学生対象)
- (3) 国際基督教大学との単位互換協定(2年次以上の学生対象)

2 前項の規定による履修は、各大学が定める履修条件に従うものとする。

3 第1項の規定による履修をもって、本学の必修科目及び選択必修科目の単位を満たすことはできない。

(同一授業科目の重複履修)

第19条 既に単位を修得した科目と同一の授業科目は、重ねて履修することができない。

2 前項の規定にかかわらず、女性の生きる力科目の「挑戦するリベラルアーツ」、社会連携科目の各科目、第二外国語科目の読解、会話及び総合、並びにギリシア語・ラテン語科目の中級については、同一の授業科目を重ねて履修することができる。ただし、同一の時間割番号の授業科目を重ねて履修することはできない。

(学科共有の授業科目の履修)

第19条の2 以下の各号の学科共有の授業科目については、所属する学科の授業科目として履修しなければならない。

- (1) 人文学科及び国際社会学科の「アメリカの社会と文化(アメリカ社会基礎論)」及び「言語の多様性と普遍性」
- (2) 人文学科及び経済経営学科の「世界遺産学A」及び「世界遺産学B」
- (3) 人文学科及び社会コミュニケーション学科の「日本語データ分析Ⅰ」及び「日本語データ分析Ⅱ」
- (4) 国際社会学科及び経済経営学科の「開発経済学Ⅰ」

2 前項で履修した科目を他学科の科目として重ねて履修することはできない。

第19条の3 以下の各号の学科と全学共通カリキュラムとの共有の授業科目については、科目を設置する学科に所属する者は所属する学科の授業科目として、科目を設置する学科に所属しない者は全学共通カリキュラムの授業科目として履修しなければならない。

- (1) 人文学科及びキリスト教学科目の「キリスト教の思想・文化」、「キリスト教の歴史」、「キリスト教学概論」及び「キリスト教学講読」
- (2) 人文学科及び第二外国語科目の「ドイツの歴史と文化A」、「ドイツの歴史と文化B」、「中国と日本の文学文化A」及び「中国と日本の文学文化B」
- (3) 人文学科及び第一外国語科目の「英語音声学」、「Pronunciation」及び「English through Literature」
- (4) 社会コミュニケーション学科及び第一外国語科目の「Media Literacy」

2 前項で履修した科目を他学科の科目又は全学共通カリキュラムの科目として重ねて履修することはできない。

(教育職員の資格取得のための履修)

第20条 教職課程科目は、教育職員の資格を得ようとする者が履修することができる。

2 2年次以上で教職課程科目(「教職論」を除く。)を履修するには、2年次始めの定められた期間に所定の教職課程登録を行わなければならない。

3 教職課程登録を行った者は、所定の課程履修費を納入しなければならない。

4 教育職員の資格取得のために履修すべき科目及び単位数については、別の定めによる。

(学芸員の資格取得のための履修)

第21条 学芸員課程科目は、学芸員の資格を得ようとする者が履修することができる。

- 2 学芸員課程科目を履修するには、2 年次始めの定められた期間に所定の学芸員課程登録を行わなければならない。
- 3 学芸員課程登録を行った者は、所定の課程履修費を納入しなければならない。
- 4 学芸員資格取得に関する事項は、東京女子大学学芸員資格取得に関する内規の定めによる。
(公認心理師の資格取得のための履修)

第21条の2 心理・コミュニケーション学科の公認心理師特設科目は、公認心理師の資格を得ようとする者が履修することができる。

- 2 前項の科目を履修するには、2 年次始めの定められた期間に所定の公認心理師課程登録を行わなければならない。
- 3 公認心理師課程登録を行った者は、所定の課程履修費を納入しなければならない。
- 4 公認心理師の資格取得のために履修すべき科目及び単位数については、別の定めによる。

第22条 削除

(日本語教員養成課程の履修)

第23条 日本語教員養成課程を履修するには、2 年次始めの履修登録時に所定の日本語教員養成課程登録を行わなければならない。

- 2 日本語教員養成課程を修了するには、日本語教員養成課程登録を行い、教育課程に従い、所定の 40 単位以上を修得しなければならない。
- 3 日本語教員養成課程を修了した者には、卒業時に日本語教員養成課程修了証を交付する。

第23条の2 削除

第23条の3 削除

第23条の4 削除

(Global Citizenship Program の履修)

第23条の5 本学に Global Citizenship Program(以下、「GCP」という。)を置く。

- 2 GCP を履修するには 2 年次始めの履修登録時に所定の登録を行わなければならない。
- 3 GCP を修了するには、GCP 登録を行い、その教育課程に従い、所定の 21 単位以上を修得しなければならない。
- 4 GCP を修了した者には、卒業時に修了証を交付する。

(AI・データサイエンス教育プログラムの履修)

第23条の6 本学に AI・データサイエンス教育プログラムを置く。

- 2 AI・データサイエンス教育プログラムを履修するには、学期始めの履修登録時に所定の登録を行わなければならない。
- 3 AI・データサイエンス教育プログラムのリテラシーレベル、応用基礎レベル、専門応用レベル及びエキスパートレベルを修了した者には、レベルに応じ修了証を交付する。

(副専攻の課程の履修)

第24条 本学に次の副専攻の課程を置く。

- (1) キリスト教学副専攻
- (2) 女性学・ジェンダー副専攻
- (3) 比較文化副専攻
- (4) 人間文化学副専攻
- (5) 国際理解副専攻
- (6) ビジネス・地域マネジメント副専攻
- (7) 心理学副専攻
- (8) 社会構想副専攻
- (9) 情報数理学副専攻

第25条 副専攻の課程を履修するには、2 年次又は 3 年次始めの履修登録時に所定の副専攻登録を行わなければならない。

- 2 副専攻の課程の複数登録は、許可しない。
- 3 副専攻の変更は、3 年次始めの履修登録時に 1 回に限り許可する。

第26条 副専攻の課程を修了するには、副専攻登録を行い、当該副専攻の教育課程に従い、所定の18単位以上を修得しなければならない。

2 副専攻の課程を修了した者には、卒業時に副専攻修了証を交付する。

第3章 履修科目の登録

(履修科目の登録方法及び登録時期)

第27条 履修科目の登録は、毎学年始めの定められた期間に、その年度に履修する授業科目を所定の手続きにより、教育研究支援部学務課(以下「学務課」という。)に届け出ることによって行わなければならない。

2 後期のみの授業科目についても、原則として、学年始めの履修科目登録期間に登録するものとする。

第28条 前条の規定にかかわらず、次の者については、後期始めの所定の期間に履修科目の登録を行うことができる。

(1) 前期のみ休学し、後期に復学する者

(2) 神戸女学院大学と本学との単位互換協定に基づく特別聴講学生として、神戸女学院大学に前期のみ派遣され、後期に本学における履修を再開する者

(3) 東京女子大学学則(以下「学則」という。)第27条の2により留学した者で、後期に本学における履修を再開する者

(4) 前期末卒業を申告した者で、第84条の規定を満たすことができずに、後期に履修する者(履修登録の訂正、削除、追加及び変更)

第29条 履修登録の訂正、削除、追加及び変更は、次の各号に定める期間及び授業科目に限り認めるものとし、所定の手続きにより、学務課に届け出ることによって行わなければならない。

(1) 履修科目登録期間又は前期登録訂正期間 全ての授業科目

(2) 後期登録訂正期間 後期のみの授業科目、後期に実施される集中講義による授業科目

2 あらかじめ履修クラスが指定されている必修科目又は選択必修科目については、クラスの変更を認めない。

3 履修者制限が行われた授業科目については、クラスの変更及び履修者制限後の追加登録を認めない。

第30条 履修登録の内容が次の各号に該当する場合は、前条に定める所定の手続により訂正しなければならない。

(1) 第7条から第16条、第19条から第23条の5、第76条、第77条のいずれかに違反した場合

(2) 教育課程に定める履修条件に違反した場合

(3) 履修者制限が行われた授業科目で、履修登録を認められていない授業科目を届け出た場合

(休学による履修登録の取消)

第31条 履修登録後に休学した場合は、履修登録したすべての授業科目を取消すものとする。ただし、履修期間が終了している授業科目は除く。

(やむをえない事由による履修登録の取消)

第32条 当該学期の休学手続期限後に、病気、負傷等で授業に出席することができなくなった場合は、所定の手続により、履修中のすべての授業科目の登録を取消することができる。

2 前項の規定により履修登録の取消を申告する者は、事由を記し保証人が連署した所定用紙を次の期限までに学務課に提出しなければならない。

(1) 前期申告期限 6月末日まで

(2) 後期申告期限 冬期休暇前授業終了日まで

3 履修登録の取消の事由が病気又は負傷の場合には、医師の診断書を添付しなければならない。

第33条 病気、負傷等で特定の科目の授業に出席することができなくなった場合は、所定の手続により、履修中の当該授業科目の登録を取消することができる。

2 前項の規定により履修登録の取消を申告する者は、事由を記し保証人が連署した所定用紙を次の期限までに学務課に提出しなければならない。

- (1) 前期申告期限 6月末日まで
- (2) 後期申告期限 冬期休暇前授業終了日まで

3 履修登録の取消の事由が病気又は負傷の場合には、医師の診断書を添付しなければならない。
(学外学修の単位認定による履修登録の取消)

第34条 第60条第1項第5号オからコに基づき、入学後に学外学修により第二外国語の単位を認定された者が、認定に係る資格等を取得した学期に当該認定科目を履修中の場合は、所定の手続により、当該科目の履修登録を取消することができる。

2 前項の規定により履修登録の取消を申告する者は、所定用紙を次の期限までに学務課に提出しなければならない。

- (1) 前期申告期限 6月末日まで
- (2) 後期申告期限 冬期休暇前授業終了日まで

第35条 削除

第4章 試験及び単位修得

(試験の種類)

第36条 履修した科目の単位の認定は、試験による。

2 履修登録を行っていない授業科目は、試験を受けることができない。

第37条 試験の種類は、学年暦の前期又は後期の定められた期間に実施する試験(以下「定期試験」という。)及び定期試験以外の方法(レポート、授業時に行う随時の試験等)とする。

2 単位は、定期試験、定期試験以外の方法又はそれらの組み合わせによって認定される。

3 卒業論文の試験方法は、論文審査及び口述試験による。

4 削除

(学費未納者の扱い)

第38条 学則第32条に定める授業料及び教育充実費を未納の者は、学則第14条第3項に定める試験を受けること及び卒業論文を提出することができない。ただし、やむをえない事情により延納又は分納の手続を行った場合はこの限りではない。

(定期試験)

第39条 定期試験は、担当者が指定する科目について、前期又は後期の定められた期間に定期試験時間割に組み入れて行う。

2 定期試験は、次の各号に従い、受験するものとする。

- (1) 定期試験は、指定された日時及び教室で受験しなければならない。
- (2) 受験の際には、身分証明書を机上に置き、監督者の確認を受けなければならない。
- (3) 受験に当たっては、すべて監督者の指示に従わなければならない。
- (4) 試験時間の1/2以上遅刻した者は、受験できない。
- (5) 受験者は、試験開始後試験時間の1/2以上を経過しないと退室できない。
- (6) 受験者は、必ず答案を提出しなければならない。
- (7) 氏名及び学生番号を記入していない答案は、無効とすることがある。

(レポートによる試験)

第40条 レポートによる試験については、担当者の定めた期限までに、担当者の定めた方法により提出しなければならない。

(成績評価)

第41条 授業科目の成績評価は、S、A、B、C、Fの5段階で行い、S、A、B、Cを合格、Fを不合格とする。

2 出席不良等により成績評価不能の場合は、Xとする。

3 成績評価の基準及び100点法の目安は、以下のとおりとする。

合 否	合 格				不合格	
評 価	S	A	B	C	F	X
100 点法 の目安	100～90	89～80	79～70	69～60	59～0	評価不能
評価基準	特に優秀 な成績	優れた成績	要求を満た す成績	合格と認められる 最低の成績	不合格	評価不能

4 成績評価の結果、合格した者には、単位を与える。

5 通年の授業科目の中間成績が X(評価不能)の場合は、単位を与えない。

第42条 前期のみ又は後期のみの授業科目は、それぞれの期末に成績評価を行う。

2 通年の授業科目は、後期末に成績評価を行う。

3 集中講義による授業科目は、後期末に成績評価を行う。

第43条 成績は、履修終了後の定められた期間に学務課から各人に交付する。

(GPA の算出)

第44条 第41条の規定による成績評価に対し、次の方法で GPA(Grade Point Average/成績平均点数)を算出する(小数点以下第三位を四捨五入)。

$$S \text{ の単位数} \times 4.0 + A \text{ の単位数} \times 3.0 + B \text{ の単位数} \times 2.0 + C \text{ の単位数} \times 1.0$$

登録単位数(不合格 F 及び評価不能 X を含む)

第45条 次の各号の授業科目の単位は、前条における GPA 算出の対象としない。

- (1) 心理学科目、教職課程科目及び学芸員課程科目のうち、第9条に定める授業科目の単位
- (2) 第29条及び第30条に基づき履修登録を取消した授業科目の単位
- (3) 第31条に基づき休学により履修登録を取消した授業科目の単位
- (4) 第32条及び第33条に基づきやむをえない事由により履修登録を取消した授業科目の単位
- (5) 第34条に基づき学外学修の単位認定により履修登録を取消した授業科目の単位
- (6) 第60条に基づく認定単位
- (7) 第61条に基づく認定単位

第46条 GPA は、成績表に付記して各人に通知する。

(追試験)

第47条 やむをえない理由により定期試験に欠席した場合は、追試験を願い出ることができる。

2 定期試験以外の方法(レポート、定期試験期間以外に行う随時の試験等)については、追試験を願い出ることはいない。

3 当該授業への欠席が多い場合又はレポート未提出の場合等は、追試験を認めないことがある。

4 定期試験開始後試験時間の 1/2 未満の遅刻については、追試験を願い出ることができない。

第48条 追試験を願い出る者は、当該科目の試験実施日の翌日から起算して 1 週間以内に、所定用紙に事由等を記入し、次の書類を添付して、学務課に提出しなければならない。

(1) 病気の場合 医師の診断書、証明書等(病名、欠席日等が明記され医師による証明があるもの)

(2) 交通機関の事故の場合 遅延証明書等

(3) 大学院受験、就職試験受験の場合 受験証明書等

(4) (1)、(2)及び(3)以外の場合 客観的な証明及び保証人による理由書

2 追試験を願い出るときは、所定の追試験料を納入しなければならない。

第49条 追試験の成績は、減点する場合がある。

第50条 削除

第51条 心理実習、教育実習又は博物館実習の期間が定期試験と重複した場合は、所定の手続により追試験を願い出ることができる。ただし、追試験料は免除し、追試験の成績も減点しない。

第52条 武蔵野地域5大学(亜細亜大学、成蹊大学、東京女子大学、日本獣医生命科学大学、武蔵野大学)の単位互換協定、本学と東京外国語大学との単位互換協定及び本学と国際基督教大学との単位互換協定に基づき、本学以外の各大学において履修する授業科目の定期試験が、本学の授業科目の定期試験と重複した場合は、他大学の授業科目を受験し、本学の授業科目については、所定の手続により追試験を受けるものとする。ただし、追試験料は免除し、追試験の成績も減点しない。

第53条 追試験は、前期の定期試験に対しては8月下旬から9月中旬の指定日に、後期の定期試験に対しては2月中旬から3月末の指定日に行う。

(再試験)

第54条 卒業に必要な科目が不合格となった場合は、当該科目に合格すればその年度に卒業できる見込の者に限り、条件を満たせば、願出により教授会の審議を経て、再試験を受けることができる。

2 再試験を願出するときは、所定の再試験料を納入しなければならない。

3 第1項の規定による当該科目に合格すればその年度に卒業できる見込の者に、以下の者を含む。

後期の授業科目の追加登録及び卒業に必要な前期の授業科目の合格により、再びその年度に卒業できる見込となる者

4 前項の規定による者は、再試験を願出するときに、後期登録訂正期間に授業科目を追加登録する意思を示さなければならない。

第55条 当該授業への欠席が多い、試験未受験又はレポート未提出等の場合は、再試験を認めないことがある。

第56条 再試験を認める科目数は、卒業する年度の履修科目のうち、年間3科目以内とする。

第57条 再試験を認める授業科目の成績は、Fとする。ただし、当該授業担当者が第41条第3項の100点法の目安において50点に満たないと評価した授業科目については、再試験を認めない。

第58条 再試験の対象となる授業科目は、次のとおりとする。

(1) 前期末に行う再試験

卒業に必要な前期の授業科目

卒業に必要な後期の授業科目の履修条件として指定されている前期の授業科目

(2) 年度末に行う再試験

卒業に必要な後期の授業科目及び通年の授業科目

卒業に必要な集中講義による授業科目

2 次の科目は、再試験の対象とはしない。

AI・データサイエンス科目	早稲田大学連携科目	データ科学入門α、データ科学入門β、データ科学入門γ、データ科学入門δ、データ科学実践、回帰と分類のデータ科学、時系列構造のデータ科学、潜在構造のデータ科学
学科科目	人文学科	卒業論文
	国際社会学科	日本語教育実習、卒業論文
	経済経営学科	卒業論文
	心理学科	卒業論文
	社会コミュニケーション学科	卒業論文
	情報数理科学科	情報数理科学講究1、情報数理科学講究2

第59条 再試験の成績は、C又はFとする。

(学外学修の単位認定)

第60条 学則第15条の2に基づき、次の単位及び学修について、合わせて60単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を与えることができる。ただし、単位認定については、所定の手続による。

(1) 本学と日本国内の他の大学との協定に基づき、当該大学において履修した授業科目の単位。ただし、次のア、イ及びエの単位認定は、合わせて16単位までとする。

ア 武蔵野地域5大学(亜細亜大学、成蹊大学、東京女子大学、日本獣医生命科学大学、武蔵野大学)の単位互換協定に基づき、本学以外の各大学において履修した授業科目の単位

イ 東京外国語大学との単位互換協定に基づき、東京外国語大学において履修した授業科目の単位

ウ 神戸女学院大学との協定に基づき、神戸女学院大学において履修した授業科目の単位

エ 国際基督教大学との単位互換協定に基づき、国際基督教大学において履修した授業科目の単位

(2) 学則第27条の2に定める留学により、外国の大学において履修した授業科目の単位。ただし、単位認定については東京女子大学外国留学に関する規程及び東京女子大学国際英語学科海外研修(スタディ・アブロード)に関する規程の定めによる。

(3) 本学が外国の大学とあらかじめ協議の上当該大学において実施する語学研修及び教養講座における学修、並びに本学があらかじめ認めた外国の大学が実施する語学研修における学修。参加者が所定の成績を修めた場合、この学修を次の科目を履修したものとみなし、単位を与えることができる。ただし、この号に定める単位認定は卒業までに各科目1回とし、単位認定の対象とする語学研修の研修先大学については別に定める。

研修の種類		認定科目及び認定単位数
語学研修	英語研修	第一外国語科目 選択科目 2024年度以降入学者に適用： 「Intensive English」2単位 外国語科目 第一外国語 選択科目 「Intensive English」2単位
	ドイツ語研修	第二外国語科目 選択科目 2024年度以降入学者に適用： 「ドイツ語(会話)」1単位 外国語科目 第二外国語 選択科目 2013年度以降入学者に適用： 「ドイツ語(会話)」1単位
	フランス語研修	第二外国語科目 選択科目 2024年度以降入学者に適用： 「フランス語(会話)」1単位 外国語科目 第二外国語 選択科目 2013年度以降入学者に適用： 「フランス語(会話)」1単位
	スペイン語研修	第二外国語科目 選択科目 2024年度以降入学者に適用： 「スペイン語(会話)」1単位 外国語科目 第二外国語 選択科目 2013年度以降入学者に適用： 「スペイン語(会話)」1単位
	中国語研修	第二外国語科目 選択科目 2024年度以降入学者に適用： 「中国語(会話)」1単位 外国語科目 第二外国語 選択科目

		2013 年度以降入学者に適用： 「中国語(会話)」1 単位
	韓国語研修	第二外国語科目 選択科目 2024 年度以降入学者に適用： 「韓国語(会話)」1 単位 外国語科目 第二外国語 選択科目 2013 年度以降入学者に適用： 「韓国語(会話)」1 単位
教養講座	ケンブリッジ教養講座	2024 年度以降入学者に適用： 女性の生きる力科目 選択科目 「ケンブリッジ教養講座」2 単位 2018 年度以降入学者に適用： 挑戦する知性科目 選択科目 「ケンブリッジ教養講座」2 単位 2013 年度から 2017 年度入学者に適用： 総合教養科目 選択科目 「海外教養講座A」2 単位

- (4) 他大学又は短期大学を中途退学又は卒業し 1 年次に入学する者が、本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において履修した授業科目の単位。ただし、単位認定については、別の定めにより、入学時に行う。
- (5) 文部科学大臣が別に定める技能審査等における成果に係る学修のうち次のもの。ただし、単位認定については、別表第 2(技能審査等における成果に係る学修の単位認定)による。
- ア 財団法人ドイツ語学文学振興会が実施するドイツ語技能検定試験
 - イ 財団法人フランス語教育振興協会が実施する実用フランス語技能検定試験
 - ウ 財団法人日本スペイン協会が実施するスペイン語技能検定試験
 - エ 財団法人日本中国語検定協会が実施する中国語検定試験
 - オ 財団法人韓国教育財団が実施する韓国語能力試験
 - カ ハングル能力検定協会が実施する「ハングル」能力検定試験
- (6) 本学が外国の大学と協定の上実施するプログラムにおいて本学以外の大学で履修した授業科目の単位。ただし、単位認定については当該大学の認定した単位数とは別に、その実質的履修時間数を考慮し、学則第 11 条の定めにより行う。
- (7) 高大連携協定により本学に入学する前に科目等履修生として履修した授業科目の単位。ただし、単位認定については、東京女子大学科目等履修生規程により、入学時に行う。
- 2 前項第 5 号の規定により、入学前の学外学修について単位認定を申告する者は、所定用紙を入学年度の履修科目登録期間開始日の前日までに学務課に提出しなければならない。
- 3 前項により認定された単位は、入学年度の修得単位とする。
- 4 第 1 項第 5 号の規定により、入学後の学外学修について単位認定を申告する者は、所定用紙を次の期限までに学務課に提出しなければならない。

資格等取得時期	認定願提出期限
前年度の 10 月 1 日から履修科目登録期間開始日の前日までに取得した資格等	履修科目登録期間開始日の前日まで
履修科目登録期間開始日から 9 月 30 日までに取得した資格等	9 月 30 日まで

- 5 前項の期日が、土曜日、日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その前日を期日とする。
- 6 第 4 項の規定により認定された単位は、願い出年度の修得単位とする。

7 第4項の規定にかかわらず、4年次学生については、後期の定期試験期間の最終日の翌日から当年度の年度末までは、単位認定を申告することができない。

8 第1項第3号の規定により認定された単位は、夏期の学修によるものについては願い出年度、春期の学修によるものについては願い出年度の翌年度の修得単位とする。

第61条 編入学者又は学士入学者が、本学に入学する前に在学し、入学資格を判定した大学又は短期大学等において履修した授業科目の単位のうち、本学の単位に当てられると認められるものを、本学の単位に換算して数えることができる。ただし、単位認定については別の定めによる。

第5章 進級

(進級の時期)

第62条 進級の時期は、学年の初めとする。

(進級の条件)

第63条 次の学年に進級するには、同一学年を前期から後期の順で2学期間在学し、前期及び後期とも1単位以上の授業科目の登録がなければならない。

第64条 次の各号に該当し、前条の要件を満たすことができない場合は、進級を許されず、もとの学年に留められる。

(1) 休学した場合

(2) 第32条に基づき当該学期のすべての授業科目の登録を取り消した場合

第64条の2 前年度末までに、4単位(卒業に必要な単位に数えられないものを除く。)以上を修得していない者は、2年次への進級を許されない。

第64条の3 前年度末までに、44単位(卒業に必要な単位に数えられないものを除く。)以上を修得していない者は、3年次への進級を許されない。

2 情報数理科学科情報数理科学専攻の学生は、前項の規定による44単位には、自学科科目のうち次の8科目計14単位を含めなければならない。

「微分積分学Ⅰ」、「微分積分学Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ」、「線形代数学Ⅱ」、「数学演習Ⅰ」、「数学演習Ⅱ」、「集合と写像」、「1年次演習」

第65条 前年度末までに、84単位(卒業に必要な単位に数えられないものを除く。)以上を修得していない者又は累積のGPAが0.3未満の者は、4年次への進級を許されない。

2 前項の規定による84単位には、次の授業科目を含めなければならない。

人文学科	哲学専攻	自専攻科目のうち次の4科目計8単位 哲学の基本問題、哲学の歴史的展開、 2年次演習Ⅰ(哲学)、2年次演習Ⅱ(哲学)
	日本文学文化専攻	自専攻科目のうち次の1科目2単位 人文学発展演習(日本文学文化)Ⅱ
	英語圏文化専攻	自専攻科目のうち次の1科目2単位 人文学発展演習(英語圏文化)Ⅱ
	歴史文化専攻	自専攻科目のうち次の1科目2単位 人文学発展演習(歴史文化)Ⅱ
国際社会学科	自学科科目のうち次の5科目計10単位 基礎演習(国際社会)Ⅰ、基礎演習(国際社会)Ⅱ、2年次演習(国際社会)Ⅰ、 2年次演習(国際社会)Ⅱ、3年次演習(国際社会)Ⅱ	
経済経営学科	自学科科目のうち次の5科目計10単位 基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ、2年次拠点実習Ⅰ、 2年次拠点実習Ⅱ、3年次演習Ⅱ	
心理学科	自学科科目のうち次の2科目計6単位	

	心理学統計法Ⅰ、心理学特殊実験演習
社会コミュニケーション学科	自学科科目のうち次のいずれか1科目2単位 3年次演習(社会コミュニケーション)Ⅰ又は 3年次演習(社会コミュニケーション)Ⅱ
情報数理科学科 情報数理科学専攻	自専攻科目のうち次の10科目計18単位 微分積分学Ⅰ、微分積分学Ⅱ、線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ、数学演習Ⅰ、 数学演習Ⅱ、 集合と写像、情報学概論、CプログラミングⅠ、1年次演習

第6章 学科及び専攻の変更

(学科の変更)

第66条 学科の変更(以下「転学科」という。)は、選考の上、学年初めに限り許可することがある。

2 転学科は、教授会の審議を経て、学長がその意見を徴し許可する。

第67条 願い出時に休学中の者は、転学科を願い出ることができない。

第68条 転学科を願い出る者は、所定の期限までに、必要書類を添えて転学科願を提出しなければならない。

2 転学科願は、所定用紙に志望理由を記し、保証人が連署の上、アドバイザー、所属学科の専攻主任及び学科主任の承認印を受けて学務課に提出するものとする。

第69条 転学科を願い出る者は、転学科の時期において次の単位数以上を修得していなければならない。ただし、1年次及び2年次で転学科を願い出る者は、転学科の時期において進級する見込の者でなければならない。

(1) 1年次で転学科を願い出る者 30単位

(2) 2年次以上で転学科を願い出る者 62単位

2 修得単位が前項に定める単位に満たない場合は、転学科の許可は取消される。

第70条 転学科後の受入年次については、次のとおりとする。

(1) 1年次で転学科を願い出た者 2年次

(2) 2年次以上で転学科を願い出た者 3年次

第71条 削除

第72条 削除

第73条 削除

第74条 削除

第75条 削除

(専攻の変更)

第75条の2 人文学科内における専攻の変更(以下「転専攻」という。)は、選考の上、学年初めに限り許可することがある。

2 転専攻は、教授会の審議を経て、学長がその意見を徴し許可する。

第75条の3 願い出時に休学中の者は、転専攻を願い出ることができない。

第75条の4 転専攻を願い出る者は、所定の期限までに、必要書類を添えて転専攻願を提出しなければならない。

2 転専攻願は、所定用紙に志望理由を記し、保証人が連署の上、アドバイザー、所属専攻の専攻主任及び人文学科主任の承認印を受けて学務課に提出するものとする。

第75条の5 転専攻を願い出る者は、転専攻の時期において次の単位数以上を修得していなければならない。ただし、1年次及び2年次で転専攻を願い出る者は、転専攻の時期において進級する見込の者でなければならない。

(1) 1年次で転専攻を願い出る者 30単位

(2) 2年次以上で転専攻を願い出る者 62単位

2 修得単位が前項に定める単位に満たない場合は、転専攻の許可は取消される。

第75条の6 転専攻後の受入年次については、次のとおりとする。

- (1) 1年次で転専攻を願い出た者 2年次
- (2) 2年次以上で転専攻を願い出た者 3年次

第7章 卒業論文、情報数理科学講究1、情報数理科学講究2

(卒業論文、情報数理科学講究1、情報数理科学講究2の履修)

第76条 卒業論文、情報数理科学講究1及び情報数理科学講究2は、次のとおり、4年次に履修しなければならない。

人文学科、国際社会学科、経済経営学科、心理学科、社会コミュニケーション学科	卒業論文
情報数理科学科	情報数理科学講究1、情報数理科学講究2

2 卒業論文を履修するには、第27条に定める履修登録に加え、第78条に定める題目の届け出を行わなくてはならない。

第77条 前条の規定にかかわらず、4年次の履修登録時に、卒業しない旨の意思表示を行った者については、卒業論文、情報数理科学講究1、情報数理科学講究2の履修登録を認めない。
(卒業論文の題目の題目)

第78条 卒業論文の題目は、所定の期限までに、各学科又は各専攻に届け出なければならない。

2 卒業論文の題目は、当該学科又は専攻で審議承認の上、各学科主任を通じて学務課に届けられるものとする。

3 卒業論文の履修登録を行った者が、卒業論文の題目を届け出ない場合は、卒業論文の履修登録を取消すものとする。

(卒業論文の提出)

第79条 卒業論文は、所定の期限までに、本人が学務課に提出しなければならない。

2 卒業論文の提出は、教務委員会が予め定め周知した方法によるものとする。

3 卒業論文を提出するには、提出方法に応じ定められた形式的要件をすべて満たしていなければならない。

4 卒業論文は、提出後に変更、訂正、追加、削除等を行うことはできない。

第79条の2 天災ほかやむを得ない事由により、前条第1項から第4項の規定を適用することが難しいと教務委員会が判断した場合においては、この限りでない。前条に代わる提出方法、形式的要件、提出後の扱いについては事前に教務委員会で審議し決定する。

第80条 卒業論文を提出した者は、所定の期日に口述試験を受けなければならない。

第81条 削除

第82条 当該年度の卒業が単位の不足により不可能となった場合においても、当該年度に卒業論文を提出し、卒業論文の単位を修得することができる。

第8章 卒業

第83条 4年以上在学し、第3条別表第1ア又はイに定める124単位以上を修得したとき、卒業が認められる。

第84条 4年以上在学し、前期末に第3条別表第1ア又はイに定める124単位(以下「卒業に必要な単位」という。)を満たした場合は、前期末において卒業が認められる。

2 前期末卒業の対象となる者は、次の各号に該当する者とする。

- (1) 卒業に必要な単位を前期科目の単位修得で満たすことができる者
- (2) 前年度に卒業論文を履修し不合格となった者で、卒業に必要な単位を卒業論文の単位修得で満たすことができる者
- (3) 前年度に卒業論文を履修し不合格となった者で、卒業に必要な単位を卒業論文の単位修得と前期科目の単位修得とで満たすことができる者

- 3 前期末に卒業しようとする者は、学年始めの履修科目登録期間に、所定の手続により、前期末に卒業する旨の申告を行わなくてはならない。
- 4 前項に定める申告を行っていない者については、前期末において卒業に必要な単位を満たした場合も、前期末に卒業することはできない。
- 第85条** 2年次に編入学又は学士入学した者については、第83条及び第84条における「4年以上」を「3年以上」と読み替える。ただし、学士入学した者の卒業所要単位は、別の定めによる。
- 2 3年次に編入学又は学士入学した者については、第83条及び第84条における「4年以上」を「2年以上」と読み替える。ただし、学士入学した者の卒業所要単位は、別の定めによる。

第9章 雑則

(規程の改廃)

第86条 この規程の改廃は、教授会の審議を経て、学長がその意見を徴し決定する。

第87条 この規程が改正されたときは、直ちに学生に告示しなければならない。

附 則 (2003年1月8日制定)

- 1 この規程は、2003年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、2003年度以降に入学した者に適用する。
- 3 文理学部に2002年度以前に入学した者については、文理学部履修規定を適用する。
- 4 現代文化学部2002年度以前に入学した者については、現代文化学部履修規定を適用する。

附 則 (2004年1月21日改正)

この規程は、2004年4月1日から施行する。

附 則 (2004年6月30日改正)

この規程は、2004年6月30日から施行する。

附 則 (2005年1月26日改正)

この規程は、2005年4月1日から施行する。ただし、第23条の2、第23条の3及び第23条の4については、2004年度以降に入学した者に適用する。

附 則 (2006年2月17日改正)

この規程は、2006年4月1日から施行する。

附 則 (2006年7月5日改正)

この規程は、2006年7月5日から施行する。

附 則 (2007年3月1日改正)

この規程は、2007年4月1日から施行する。

附 則 (2009年3月3日改正)

この規程は、2009年4月1日から施行する。ただし、改正後の次の規定は、現代教養学部2009年度以降に入学した者に適用し、文理学部及び現代文化学部2003年度以降に入学した者については、従前の規定を適用する。

第3条別表第1及び第1の2、第9条、第10条、第14条、第15条、第19条、第19条の2、第20条第2項及び第4項、第23条の3、第37条第4項、第42条第2項、第54条、第58条第2項、第65条第2項、第68条第2項、第75条の2、第75条の3、第75条の4、第75条の5、第75条の6、第76条、第77条、第79条

附 則 (2010年2月14日改正)

この規程は、2010年4月1日から施行する。ただし、文理学部及び現代文化学部2010年度以降に入学した者については、従前の規定を適用する。

附 則 (2010年6月23日改正)

この規程は、2010年6月23日から施行する。

附 則 (2011年4月1日改正)

この規程は、2011年4月1日から施行する。

附 則 (2011年7月6日改正)

この規程は、2011年7月6日から施行する。

附 則(2012年3月12日改正)

この規程は、2012年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第1(第3条関係)については、現代教養学部在籍者に適用し、文理学部及び現代文化学部在籍者については、従前の規定の(7)自由選択科目に次の授業科目を追加して適用する。

⑩学芸員課程科目のうち次の科目

「博物館教育論」、「博物館経営論」、「博物館情報・メディア論」

附 則(2013年2月28日改正)

この規程は、2013年4月1日から施行する。ただし、改正後の次の規定は、2013年度以降に入学した者に適用し、2012年度以前に入学した者については、従前の規定を適用する。

第11条第4号、第19条第2項、第33条、第35条第1項及び第2項、第45条第5号、第65条第2項、別表第1(第3条関係)、別表第1の2(第3条関係)、別表第2(第60条第1項第5号関係)

附 則(2014年3月11日改正)

この規程は、2014年4月1日から施行する。ただし、改正後の次の規定は、2014年度以降に入学した者に適用し、2013年度以前に入学した者については、従前の規定を適用する。

第19条の2、第20条、第42条第2項、第63条、第65条第2項、別表第1(第3条関係)、別表第1の2(第3条関係)

附 則(2014年7月17日改正)

この規程は、2014年7月17日から施行する。

附 則(2015年3月11日改正)

この規程は、2015年4月1日から施行する。

附 則(2016年3月11日改正)

この規程は、2016年4月1日から施行する。

附 則(2016年4月7日改正)

この規程は、2016年4月21日から施行する。

附 則(2018年3月1日改正)

この規程は、2018年4月1日から施行する。ただし、改正後の次の規定は、2018年度以降に入学した者に適用し、2017年度以前に入学した者については、従前の規定を適用する。第3条、第9条、第19条の2、第20条、第21条の2、第37条第4項、第42条、第45条、第51条、第58条、第60条第1項第2号、第65条、第66条第3項、第76条、第83条、第84条、別表第1ア・イ(第3条関係)、別表第1の2(第3条関係)、別表第2(第60条第1項第5号関係)

附 則(2019年2月6日改正)

この規程は、2019年4月1日から施行する。ただし、改正後の第22条(削除)及び別表第1イ(第3条関係)は2018年度以降に入学した者に適用し、2017年度以前に入学した者については、従前の規定を適用する。

附 則(2019年3月12日改正)

この規程は、2019年4月1日から施行する。ただし、改正後の第9条、別表第1ア(第3条関係)及び別表第1イ(第3条関係)は2018年度以降に入学した者に適用し、2017年度以前に入学した者については、従前の規定を適用する。

附 則(2019年12月18日改正)

- 1 この規程は、2020年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第2(第60条第1項第5号関係)については2018年度以降の入学者に適用し、2017年度以前の入学者については、従前の規定を適用する。
- 3 前項の規定にかかわらず、2017年度以前の入学者についても改正後の別表第2(第60条第1項第5号関係)の第一外国語(英語)の単位認定の注を適用する。

附 則(2020年2月28日改正)

この規程は、2020年4月1日から施行する。

附 則(2020年7月15日改正)

この規程は、2020年7月15日から施行する。ただし、改正後の別表第1の2(第3条関係)は2018年度以降に入学した者に適用し、2017年度以前に入学した者については、従前の規定を適用する。

附 則(2020年11月11日改正)

この規程は、2020年11月11日から施行する。

附 則(2021年3月22日改正)

この規程は、2021年4月1日から施行する。

附 則 (2022年2月28日改正)

この規程は、2022年4月1日から施行する。ただし、改正後の第24条及び第25条は、2021年度以降の入学者に適用し、2020年度以前に入学した者については、従前の規定を適用する。また、改正後の別表第1の2(第3条関係)については2022年度以降の入学者に適用し、2021年度以前に入学した者については、従前の規定を適用する。

附 則 (2023年5月17日改正)

この規程は、2023年7月1日から施行する。

附 則 (2024年3月8日改正)

この規程は、2024年4月1日から施行する。ただし、改正後の規定は2024年度以降入学者に適用し、2023年度以前に入学した者については従前の規定を適用する。

附 則 (2025年3月14日改正)

この規程は、2025年4月1日から施行する。ただし、改正後の規定は2025年度以降入学者に適用し、2024年度以前に入学した者については従前の規定を適用する。

2 前項にかかわらず、2024年度数理科学科入学者に適用の規定は、数理科学科から情報数理科学科に名称を変更する。

附 則 (2026年3月12日改正)

この規程は、2026年3月12日から施行する。ただし、改正後の別表第1の2は2025年度以降入学者に適用し、2024年度以前に入学した者については従前の規定を適用する。

別表第1ア(第3条関係)

卒業に必要な最低単位数

合計 124 単位			
全学共通カリキュラム	リベラル・スタディーズ	(1) 知のかけはし科目 「人文社会横断型」から 2 科目 4 単位、「自然科学包含型」から 1 科目 2 単位を含め計 4 科目 8 単位	計 8 単位
		(2) 女性の生きる力科目 「女性のウェルネス・身体運動」1 科目 1 単位	1 単位
		(3) キリスト教学科目 「キリスト教学入門Ⅰ」、「キリスト教学入門Ⅱ」2 科目計 4 単位	計 4 単位
	グローバル・シテイズンシップ・スタディーズ	(4) 第一外国語科目 英語 1 年次必修 6 科目計 6 単位、2 年次必修 4 科目計 4 単位	計 10 単位
		(5) 第二外国語科目 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の初級のうち、同一言語の初級 1 および初級 2 の 2 科目計 3 単位	計 3 単位
	エー・データサイエンス・スタディーズ	(6) AI・データサイエンス科目 「DS・ICT 入門Ⅰ」、「DS・ICT 入門Ⅱ」2 科目計 4 単位	計 4 単位
(7) 学科科目(自学科) 必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて			
人文学科	60 単位	自学科科目 60 単位には、以下の①②の科目の計 54 単位を含めなければならない。 ①「人文学入門」2 単位、「人文学総合講義」2 単位、「人文学基礎演習」2 単位、「卒業論文」8 単位の 4 科目 計 14 単位 ②自専攻科目(別表第 1 の 2 の区分による) 計 40 単位	
国際社会学科	60 単位		
経済経営学科	60 単位		
心理学科	60 単位		
社会コミュニケーション学科	60 単位		
情報数理科学科	68 単位		
(8) 学科科目(他学科)			

人文学科 国際社会学科 経済経営学科 心理学科 社会コミュニケーション学科 情報数理科学科	10 単位	
(9) 自由選択科目		
人文学科 国際社会学科 経済経営学科 心理学科 社会コミュニケーション学科	24 単位	自由選択科目の単位として数えられるものは、下記の科目の単位である。 ただし、上記(1)～(8)として修得する単位数は含めない。 また、⑩において心理学科の「心理演習」、「心理実習」の単位は含まない。 ① 知のかけはし科目 ② 女性の生きる力科目 ③ キリスト教学科目 ④ 社会連携科目 ⑤ Global Citizenship Program 科目 ⑥ 第一外国語科目 ⑦ 第二外国語科目 ⑧ ギリシア語・ラテン語科目 ⑨ AI・データサイエンス科目 ⑩ 自学科の学科科目 ⑪ 他学科の学科科目 ⑫ 教職課程科目のうち次の科目 「教職論」、「教育原論」、「教育心理学」、「教育社会学」、「特別支援教育」 ⑬ 学芸員課程科目のうち次の科目 「博物館概論」、「博物館資料論」、「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」、「生涯学習論」、「博物館情報・メディア論」
情報数理科学科	16 単位	

注1 上記の単位数を満たしても、所属学科の定める必修条件を満たさなければ、卒業できない。

2 外国人正規課程留学生の卒業に必要な最低単位数については、別表第1イに定める。

別表第1イ(第3条関係) 卒業に必要な最低単位数

			合計 124 単位
全学共通カリキュラム	リベラル・ スタディーズ	(1) 知のかけはし科目 「人文社会横断型」から 2 科目 4 単位、「自然科学包 含型」から 1 科目 2 単位を含め 計 4 科目 8 単位	計 8 単位
		(2) 女性の生きる力科目 「女性のウェルネス・身体運動」1 科目 1 単位	1 単位
		(3) キリスト教学科目 「キリスト教学入門Ⅰ」、「キリスト教学入門Ⅱ」2 科目 計 4 単位	計 4 単位
	グローバル・ シテイズンシップ・ スタディーズ	(4) 第一外国語科目 日本語 1 年次必修 2 科目計 8 単位	計 8 単位
		(5) 第二外国語科目 英語 1 年次必修 6 科目計 6 単位	計 6 単位

データサイエンス・サイエンス・	(6) AI・データサイエンス科目 「DS・ICT 入門Ⅰ」、「DS・ICT 入門Ⅱ」2 科目計 4 単位	計 4 単位
-----------------	--	--------

(7) 学科科目(自学科) 必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて		
人文学科	60 単位	自学科科目 60 単位には、以下の①②の科目の計 54 単位を含めなければならない。 ①「人文学入門」2 単位、「人文学総合講義」2 単位、「人文学基礎演習」2 単位、「卒業論文」8 単位の 4 科目 計 14 単位 ②自専攻科目(別表第 1 の 2 の区分による) 計 40 単位
国際社会学科	60 単位	
経済経営学科	60 単位	
心理学科	60 単位	
社会コミュニケーション学科	60 単位	
情報数理科学科	68 単位	
(8) 学科科目(他学科)		
人文学科 国際社会学科 経済経営学科 心理学科 社会コミュニケーション学科 情報数理科学科	10 単位	
(9) 自由選択科目		
人文学科 国際社会学科 経済経営学科 心理学科 社会コミュニケーション学科	23 単位	自由選択科目の単位として数えられるものは、下記の科目の単位である。 ただし、上記(1)～(8)として修得する単位数は含めない。 また、⑩において心理学科の「心理演習」、「心理実習」の単位は含まない。 ① 知のかけはし科目 ② 女性の生きる力科目 ③ キリスト教学科目 ④ 社会連携科目 ⑤ Global Citizenship Program 科目 ⑥ 第一外国語科目 ⑦ 第二外国語科目

情報数理科学科	15 単位	⑧ ギリシア語・ラテン語科目 ⑨ AI・データサイエンス科目 ⑩ 自学科の学科科目 ⑪ 他学科の学科科目 ⑫ 教職課程科目のうち次の科目 「教職論」、「教育原論」、「教育心理学」、「教育社会学」、「特別支援教育」 ⑬ 学芸員課程科目のうち次の科目 「博物館概論」、「博物館資料論」、「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」、「生涯学習論」、「博物館情報・メディア論」
---------	-------	---

注 1 上記の単位数を満たしても、所属学科の定める必修条件を満たさなければ、卒業できない。

別表第1の2（第3条関係） 履修要件
 (1) 知のかけはし科目

授業科目名	授業期間 (15週単位)	毎週授 業時間	単位数	必修・選択必修・ 選択の別	履修年次
人文社会横断型A	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型B	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型C	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型D	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型E	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型F	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型G	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型H	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型I	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型J	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型K	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型L	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型M	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型N	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型O	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型P	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型Q	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型R	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型S	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型T	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型U	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型V	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型W	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型X	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型Y	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
人文社会横断型Z	1	2	2	選択必修*1	1・2・3・4
自然科学包含型A	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型B	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型C	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型D	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型E	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型F	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型G	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型H	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4
自然科学包含型I	1	2	2	選択必修*2	1・2・3・4

注 1 選択必修*1から2科目4単位、選択必修*2から1科目2単位を含め4科目8単位を必修とする。

2 1・2年次が履修できる「知のかけはし科目」単位数の上限は、既修得単位と合わせて6単位とする。

3 3年次が履修できる「知のかけはし科目」単位数の上限は、既修得単位と合わせて8単位とする。

4 4年次が履修できる「知のかけはし科目」単位数の上限は、既修得単位と合わせて10単位とする。

(2) 女性の生きる力科目

授業科目名	授業期間 (15週単位)	毎週授 業時間	単位数	必修・選択必修・ 選択の別	履修年次
挑戦するリベラルアーツ	1	2	2	選択	1・2・3・4

女性学・ジェンダーを学ぶ	1	2	2	選択	1・2・3・4
女性のキャリア形成	1	2	2	選択	1・2・3・4
女性と社会	1	2	2	選択	1・2・3・4
女性のウェルビーイング	1	2	2	選択	1・2・3・4
女性の起業	1	2	2	選択	1・2・3・4
女性のための金融リテラシー入門	1	2	2	選択	1・2・3・4
日本国憲法	1	2	2	選択	1・2・3・4
ケンブリッジ教養講座	2	2	2	選択	2・3・4
女性のウェルネス・身体運動	1	2	1	必修	1
からだの科学	1	2	2	選択	2・3・4
発育と発達	1	2	2	選択	2・3・4
栄養と健康	1	2	2	選択	2・3・4
女性の健康科学	1	2	2	選択	2・3・4
性と生命（セクソロジー）	1	2	2	選択	2・3・4
女性の心身コンディショニング	1	2	2	選択	2・3・4
実践					
スポーツ A	1	2	1	選択	2・3・4
スポーツ B	1	2	1	選択	2・3・4
スポーツ C	1	2	1	選択	2・3・4
スポーツ D	1	2	1	選択	2・3・4
フィジカルエクササイズ A	1	2	1	選択	2・3・4
フィジカルエクササイズ B	1	2	1	選択	2・3・4
フィジカルエクササイズ C	1	2	1	選択	2・3・4
身体表現 A	1	2	1	選択	2・3・4
身体表現 B	1	2	1	選択	2・3・4
身体表現 C	1	2	1	選択	2・3・4

注1 「挑戦するリベラルアーツ」は、同一授業科目を重ねて履修することができる。

(3) キリスト教学科目

授業科目名	授業期間 (15 週単位)	毎週授 業時間	単位数	必修・選択必 修・選択の別	履修年次
基礎					
キリスト教学入門Ⅰ	1	2	2	必修	1
キリスト教学入門Ⅱ	1	2	2	必修	1
発展					
キリスト教学概論	1	2	2	選択	2・3・4
聖書の世界	1	2	2	選択	2・3・4
キリスト教と倫理	1	2	2	選択	2・3・4
キリスト教の歴史	1	2	2	選択	2・3・4
日本のキリスト教	1	2	2	選択	2・3・4
キリスト教の思想・文化	1	2	2	選択	2・3・4
キリスト教と諸宗教	1	2	2	選択	2・3・4
キリスト教と芸術	1	2	2	選択	2・3・4
キリスト教と音楽	1	2	2	選択	1・2・3・4
キリスト教学講読	1	2	2	選択	2・3・4

(4) 社会連携科目

授業科目名	授業期間 (15 週単位)	毎週授 業時間	単位数	必修・選択必 修・選択の別	履修年次
-------	------------------	------------	-----	------------------	------

TWCU 社会連携講座A	1	2	2	選択	1・2・3・4
TWCU 社会連携講座B	1	2	2	選択	2・3・4
TWCU 社会連携講座C	1	2	2	選択	1・2・3・4
TWCU 社会連携講座D	1	2	2	選択	2・3・4

注1 「TWCU 社会連携講座A」、「TWCU 社会連携講座B」、「TWCU 社会連携講座C」、「TWCU 社会連携講座D」は同一授業科目を重ねて履修することができる。

(5)Global Citizenship Program 科目

授業科目名	授業期間 (15 週単位)	毎週授 業時間	単位数	必修・選択必 修・選択の別	履修年次
Integrated English A *	0.5	4	1	選択必修	1
Integrated English B *	0.5	4	1	選択必修	1
Integrated English C *	0.5	4	1	選択必修	1
Integrated English D *	0.5	4	1	選択必修	1
Global Studies Seminar A *	1	2	2	選択必修	1
Global Studies Seminar B *	1	2	2	選択必修	1
<以下の6科目はGlobal Citizenship Program 登録者のみ履修できる>					
Global Liberal Arts A **	0.5	4	2	必修	2・3・4
Global Liberal Arts B **	0.5	4	2	必修	2・3・4
Study Abroad Preparatory English **	1	2	1	必修	2
Post-SA Research Seminar **	1	2	2	必修	3
Global Citizenship Workshop I **	1	2	2	必修	4
Global Citizenship Workshop II **	1	2	2	必修	4
SA-based Global English **			4~17	必修	2・3

注1 「*」印の科目は入学時に実施するプレイスメントテストの結果に基づき基準を超えている者を履修対象とする。

2 「**」印の科目はGlobal Citizenship Program 登録者のみ履修できる。

3 「Integrated English A」または「Integrated English B」1単位、「Integrated English C」または「Integrated English D」1単位、「Global Studies Seminar A」2単位、「Global Studies Seminar B」2単位、「Global Liberal Arts A」2単位、「Global Liberal Arts B」2単位は、第一外国語科目の下記の各単位に代えることができる。

「Integrated English A」または「Integrated English B」1単位および「Global Studies Seminar A」2単位の合計3単位

→「Academic Discussion Skills A」1単位、「Academic Reading Skills A」1単位及び「Academic Writing Skills I」1単位の合計3単位

「Integrated English C」または「Integrated English D」1単位および「Global Studies Seminar B」の合計3単位

→「Academic Discussion Skills B」1単位、「Academic Reading Skills B」1単位、「Academic Writing Skills II」1単位の合計3単位

「Global Liberal Arts A」2単位及び「Global Liberal Arts B」2単位の合計4単位

→「Exploring Content: Listening/Speaking A」1単位、「Exploring Content: Listening/Speaking B」1単位、「Exploring Content: Reading/Writing A」1単位及び「Exploring Content: Reading/Writing B」1単位の合計4単位

(6)第一外国語科目

授業科目名	授業期間 (15 週単位)	毎週授 業時間	単位数	必修・選択必 修・選択の別	履修年次
Integrated Learning					
Academic Discussion Skills A	1	2	1	必修	1
Academic Discussion Skills B	1	2	1	必修	1

Academic Reading Skills A	1	2	1	必修	1
Academic Reading Skills B	1	2	1	必修	1
Academic Writing Skills I	1	2	1	必修	1
Academic Writing Skills II	1	2	1	必修	1
Exploring Content					
Exploring Content: Listening/Speaking A	1	2	1	必修	2
Exploring Content: Listening/Speaking B*	1	2	1	必修	2
Exploring Content: Reading/Writing A	1	2	1	必修	2
Exploring Content: Reading/Writing B*	1	2	1	必修	2
Critical Thinking and Creativity					
Presenting Research	1	2	2	選択	2・3・4
Writing Research Papers	1	2	2	選択	2・3・4
Media Literacy	1	2	2	選択	2・3・4
English through Literature	1	2	2	選択	2・3・4
Topics in Language Study	1	2	2	選択	2・3・4
Topics in Arts and Sciences	1	2	2	選択	2・3・4
Academic Preparation					
IELTS	1	2	1	選択	1・2・3・4
Effective Communication					
Business English	1	2	1	選択	2・3・4
Pronunciation	1	2	1	選択	1・2・3・4
英語音声学	1	2	2	選択	1・2・3・4
Integrated Learning Elective					
Extensive Reading	1	2	1	選択	2・3・4
Study Skills	1	2	1	選択	1
Intensive English	2	2	2	選択	1・2・3・4
<以下の2科目は外国人留学生のみ履修できる>					
日本語Ⅰ（入門）**	1	8	4	必修	1
日本語Ⅱ（応用）**	1	8	4	必修	1

注1 「Study Skills」は、入学時に実施するプレイスメントテストの結果に基づき、指示のあった者を履修対象とする。

2 Global Citizenship Program 科目の履修を認められた者は Global Citizenship Program 科目のうち次の科目の単位を、下記の通り第一外国語科目の単位に代えることができる。

「Integrated English A」または「Integrated English B」1単位および「Global Studies Seminar A」2単位の合計3単位

→ 「Academic Discussion Skills A」1単位、「Academic Reading Skills A」1単位及び「Academic Writing Skills I」1単位の合計3単位

「Integrated English C」または「Integrated English D」1単位および「Global Studies Seminar B」の合計3単位

→ 「Academic Discussion Skills B」1単位、「Academic Reading Skills B」1単位、「Academic Writing Skills II」1単位の合計3単位

「Global Liberal Arts A」2単位及び「Global Liberal Arts B」2単位の合計4単位

→ 「Exploring Content: Listening/Speaking A」1単位、「Exploring Content: Listening/Speaking B」1単位、「Exploring Content: Reading/Writing A」1単位及び「Exploring Content: Reading/Writing B」1単位の合計4単位

3 **印の科目は外国人留学生のみ履修できる。

- 4 外国人正規課程留学生は、上記の定めによらず、**印の「日本語Ⅰ（入門）」及び「日本語Ⅱ（応用）」の2科目計8単位を第一外国語の必修8単位とする。

(7) 第二外国語科目

授業科目名	授業期間 (15 週単位)	毎週授 業時間	単位数	必修・選択必 修・選択の別	履修年次
ドイツ語初級 1	1	4	2	選択必修	1
フランス語初級 1	1	4	2	選択必修	1
スペイン語初級 1	1	4	2	選択必修	1
中国語初級 1	1	4	2	選択必修	1
韓国語初級 1	1	4	2	選択必修	1
ドイツ語初級 2	1	2	1	選択必修	1
フランス語初級 2	1	2	1	選択必修	1
スペイン語初級 2	1	2	1	選択必修	1
中国語初級 2	1	2	1	選択必修	1
韓国語初級 2	1	2	1	選択必修	1
ドイツ語（読解）	1	2	1	選択	2・3・4
ドイツ語（会話）	1	2	1	選択	2・3・4
ドイツ語（総合）	1	2	1	選択	2・3・4
フランス語（読解）	1	2	1	選択	2・3・4
フランス語（会話）	1	2	1	選択	2・3・4
フランス語（総合）	1	2	1	選択	2・3・4
スペイン語（読解）	1	2	1	選択	2・3・4
スペイン語（会話）	1	2	1	選択	2・3・4
スペイン語（総合）	1	2	1	選択	2・3・4
中国語（読解）	1	2	1	選択	2・3・4
中国語（会話）	1	2	1	選択	2・3・4
中国語（総合）	1	2	1	選択	2・3・4
韓国語（読解）	1	2	1	選択	2・3・4
韓国語（会話）	1	2	1	選択	2・3・4
韓国語（総合）	1	2	1	選択	2・3・4
中国と日本の文学文化A	1	2	2	選択	2・3・4
中国と日本の文学文化B	1	2	2	選択	2・3・4
ドイツの歴史と文化A	1	2	2	選択	2・3・4
ドイツの歴史と文化B	1	2	2	選択	2・3・4

- 注 1 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の初級のうち、同一言語の初級1および初級2の2科目計3単位を修得しなければならない。
- 2 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各初級2を履修するには、同じ言語の初級1の2単位を修得していなければならない。
- 3 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各読解、会話、総合を履修するには、同じ言語の初級3単位を修得していなければならない。
- 4 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各読解、会話、総合は、同一授業科目を重ねて履修することができる。
- 5 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各初級1、初級2は、第二外国語の必修科目として履修する以外に、第三、第四、第五、第六の外国語として2年次から履修することができる。ただし、本学入学時に第二外国語の必修3単位を認定された者は、1年次から履修することができる。
- 6 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において修得した単位の認定により第二外国語の必修3単位を認定された者は、認定された言語の読解、会話、総合を在籍する年次にかかわらず履修することができる。

- 7 大学以外の教育施設等における知識及び技能審査（ドイツ語技能試験、実用フランス語技能検定試験、スペイン語技能検定試験、中国語検定試験、韓国語能力試験、「ハングル」能力検定試験）の成果に係る学修により第二外国語の初級3単位を認定された者は、認定された言語の読解、会話、総合を在籍する年次にかかわらず履修することができる。
- 8 第二外国語の必修科目として履修する以外の言語について一定の条件を満たすと認められた者は、注2に定める読解、会話、総合の履修条件及び在籍する年次にかかわらず、当該言語の読解、会話、総合を履修することができる。
- 9 「中国と日本の文学文化A」、「中国と日本の文学文化B」を履修するには、「中国語初級1」及び「中国語初級2」の2科目計3単位を修得していなければならない。
- 10 「ドイツの歴史と文化A」、「ドイツの歴史と文化B」を履修するには、「ドイツ語初級1」及び「ドイツ語初級2」の2科目計3単位を修得していなければならない。
- 11 外国人正規課程留学生は、上記の定めによらず、次の科目から指定するいずれか6単位を第二外国語の必修とする。
第一外国語（英語）の1年次必修6科目計6単位

(8)ギリシア語・ラテン語科目

授業科目名	授業期間 (15週単位)	毎週授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
ギリシア語初級1	1	2	1	選択	1・2・3・4
ギリシア語初級2	1	2	1	選択	1・2・3・4
ラテン語初級1	1	2	1	選択	1・2・3・4
ラテン語初級2	1	2	1	選択	1・2・3・4
ギリシア語中級	1	2	1	選択	2・3・4
ラテン語中級	1	2	1	選択	2・3・4

- 注1「ギリシア語初級2」を履修するには、「ギリシア語初級1」1単位を修得していなければならない。
- 2「ラテン語初級2」を履修するには、「ラテン語初級1」1単位を修得していなければならない。
- 3「ギリシア語中級」を履修するには、「ギリシア語初級1」及び「ギリシア語初級2」の2科目計2単位を修得していなければならない。
- 4「ラテン語中級」を履修するには、「ラテン語初級1」及び「ラテン語初級2」の2科目計2単位を修得していなければならない。
- 5ギリシア語、ラテン語の各中級は、同一授業科目を重ねて履修することができる。

(9)AI・データサイエンス科目

授業科目名	授業期間 (15週単位)	毎週授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次
DS リテラシー・ICT 科目					
DS・ICT 入門 I	1	2	2	必修	1
DS・ICT 入門 II	1	2	2	必修	1
DS のための数学入門	1	2	2	選択	1・2・3・4
コンピュータ・サイエンス I	1	2	2	選択	1・2・3・4
コンピュータ・サイエンス II	1	2	2	選択	1・2・3・4
情報と社会	1	2	2	選択	2・3・4
情報と職業	1	2	2	選択	2・3・4
ネットワークとセキュリティ	1	2	2	選択	2・3・4
DS 基礎					
DS のための微分積分入門 I	1	2	2	選択	1・2・3・4
DS のための微分積分入門 II	1	2	2	選択	1・2・3・4
DS のための線形代数入門 I	1	2	2	選択	1・2・3・4
DS のための線形代数入門 II	1	2	2	選択	1・2・3・4

DS のための確率	1	2	2	選択	1・2・3・4
DS のための統計	1	2	2	選択	2・3・4
データ分析	1	2	2	選択	2・3・4
DS 基礎	1	2	2	選択	2・3・4
DE 基礎					
R プログラミング	1	2	2	選択	1・2・3・4
Python プログラミング	1	2	2	選択	1・2・3・4
データハンドリングの基礎	1	2	2	選択	2・3・4
AI 基礎					
機械学習の基礎	1	2	2	選択	2・3・4
AI・データサイエンス実践	1	2	2	選択	2・3・4
早稲田大学連携科目					
データ科学入門 α	0.5	2	1	選択	1・2・3・4
データ科学入門 β	0.5	2	1	選択	1・2・3・4
データ科学入門 γ	0.5	2	1	選択	2・3・4
データ科学入門 δ	0.5	2	1	選択	2・3・4
データ科学実践	0.5	2	1	選択	2・3・4
回帰と分類のデータ科学	0.5	2	1	選択	3・4
時系列構造のデータ科学	0.5	2	1	選択	3・4
潜在構造のデータ科学	0.5	2	1	選択	3・4

注 1 AI・データサイエンス科目の履修年次「2・3・4年次」選択科目を履修するには、「DS・ICT 入門 I」を履修していなければならない。

2 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において修得した単位の認定により「DS・ICT 入門 I」2 単位を認定された者は、AI・データサイエンス科目の選択科目を在籍する年次にかかわらず履修することができる。

3 早稲田大学連携科目を履修するには、「DS・ICT 入門 I」を履修していなければならない。

(10) 学科科目 (ア) 人文学科

授業科目名	授業期間(15週単位)	毎週授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通／専攻の区分	学科・専攻指定	履修年次
基盤講義							
【人文学科共通必修】							
人文学入門	1	2	2	必修	人		1
【文化】							
キリスト教の思想・文化	1	2	2	選択 *1	哲		2・3・4
キリスト教の歴史	1	2	2	選択 *1	哲		2・3・4
音楽芸術	1	2	2	選択 *1	哲		1・2・3
音楽史	1	2	2	選択 *1	哲		1・2・3
比較思想	1	2	2	選択	哲		2・3
日本の伝統芸能A	1	2	2	選択 *7	日		1
日本の伝統芸能B	1	2	2	選択 *7	日		1
近現代文化と日本文学	1	2	2	選択 *7	日		1
漢文と日本文化	1	2	2	選択 *7	日		1
Japanese Culture & Literature	1	2	2	選択 *7 *11	英		2・3
異文化理解	1	2	2	選択 *11	英		2・3・4
英語文学文化理論	1	2	2	選択 *8	英		2・3・4
アメリカの社会と文化 (アメリカ社会基礎論)	1	2	2	選択 *11	英		1・2

歴史文化の基礎テーマA	1	2	2	選択	*13	歴		1・2・3・4
歴史文化の基礎テーマB	1	2	2	選択	*13	歴		1・2・3・4
【哲学】								
哲学の基本問題	1	2	2	選択 必修	哲学専攻は	哲		1
哲学の歴史的展開	1	2	2	選択 必修	哲学専攻は	哲		1
哲学概論	1	2	2	選択 必修	哲学専攻は	哲		2
倫理学概論	1	2	2	選択	*2	哲		2・3
美学概論	1	2	2	選択	*2	哲		2・3
キリスト教学概論	1	2	2	選択	*2	哲		2・3・4
思考と論理	1	2	2	選択	*1	哲		2・3
西洋古代哲学講読	1	2	2	選択	*1	哲		2・3・4
西洋中世哲学講読	1	2	2	選択	*1	哲		2・3・4
キリスト教学講読	1	2	2	選択	*1	哲		2・3・4
古代ギリシア哲学史	1	2	2	選択	*1	哲		2・3
中世ヨーロッパ哲学史	1	2	2	選択	*1	哲		2・3
西洋近代哲学史	1	2	2	選択	*1	哲		2・3
西洋現代哲学史	1	2	2	選択	*1	哲		2・3
西洋倫理学史	1	2	2	選択	*1	哲		2・3
美学史	1	2	2	選択	*1	哲		2・3
宗教学	1	2	2	選択		哲		1・2・3
宗教史	1	2	2	選択		哲		1・2・3
【言語】								
日本語の世界	1	2	2	選択	*7	日		1
日本語学概論Ⅰ	1	2	2	選択	日本文学文化専攻は必修	日		1・2
日本語学概論Ⅱ	1	2	2	選択	日本文学文化専攻は必修	日		1・2
日本語の歴史Ⅰ	1	2	2	選択	*7	日		2・3
日本語の歴史Ⅱ	1	2	2	選択	*7	日		2・3
言語の多様性と普遍性	1	2	2	選択	*11	英		1・2
英語学概論A	1	2	2	選択	*8	英		1
英語学概論B	1	2	2	選択	*8	英		1
応用言語学概論A	1	2	2	選択	*8	英		1
応用言語学概論B	1	2	2	選択	*8	英		1
第二言語習得基礎論A	1	2	2	選択	*8	英		2・3・4
第二言語習得基礎論B	1	2	2	選択	*8	英		2・3・4
【文学】								
日本文学概論（古代）	1	2	2	選択	*5	日		1・2
日本文学概論（中世）	1	2	2	選択	*5	日		1・2
日本文学概論（近世）	1	2	2	選択	*5	日		1・2
日本文学概論（近現代）Ⅰ	1	2	2	選択	日本文学文化専攻は必修	日		1・2
日本文学概論（近現代）Ⅱ	1	2	2	選択	日本文学文化専攻は必修	日		1・2
漢文学概論A	1	2	2	選択	*7	日		2・3
漢文学概論B	1	2	2	選択	*7	日		2・3
書道	1	2	2	選択		日	日	3
英語文学文化概論A	1	2	2	選択	*8	英		1

英語文学文化概論B	1	2	2	選択	*8	英		1
英語文学文化史（イギリス）I	1	2	2	選択	*8	英		2・3・4
英語文学文化史（イギリス）II	1	2	2	選択	*8	英		2・3・4
英語文学文化史（アメリカ）	1	2	2	選択	*8	英		2・3・4
英語文学文化史（英語圏・現代）	1	2	2	選択	*8	英		2・3・4
【歴史】								
日本史概論I	1	2	2	選択 歴史文化専攻は必修		歴		1・2
日本史概論II	1	2	2	選択 歴史文化専攻は必修		歴		1・2
アジア史概論	1	2	2	選択 歴史文化専攻は必修		歴		1・2
西洋史概論	1	2	2	選択 歴史文化専攻は必修		歴		1・2
発展講義								
【人文学科共通必修】								
人文学総合講義	1	2	2	必修		人	人	3
【文化】								
比較文化A	1	2	2	選択	*7 *11	日		2・3・4
比較文化B	1	2	2	選択	*9	英		2・3・4
表象文化A	1	2	2	選択	*7 *11	日		2・3・4
表象文化B	1	2	2	選択	*9	英		2・3・4
メディアと日本文化A	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4
メディアと日本文化B	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4
トランスレーション・スタディーズ A	1	2	2	選択	*11	英		2・3・4
トランスレーション・スタディーズ B	1	2	2	選択	*11	英		2・3・4
美術史A	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
美術史B	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
世界遺産学A	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
世界遺産学B	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
歴史文化の発展テーマA	1	2	2	選択	*14	歴		2・3・4
歴史文化の発展テーマB	1	2	2	選択	*14	歴		2・3・4
歴史文化の発展テーマC	1	2	2	選択	*14	歴		2・3・4
歴史文化の発展テーマD	1	2	2	選択	*14	歴		2・3・4
ドイツの歴史と文化A	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
ドイツの歴史と文化B	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
【哲学】								
現代社会を哲学する	1	2	2	選択	*3	哲		2・3・4
哲学研究の最前線	1	2	2	選択	*3	哲		2・3・4
現代の倫理	1	2	2	選択	*3	哲		2・3・4
日本と東洋の美学	1	2	2	選択	*3	哲		2・3・4
西洋の美学	1	2	2	選択	*3	哲		2・3・4
ジェンダーの哲学	1	2	2	選択	*3	哲		2・3・4
【言語】								
日本語の歴史特論A	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4
日本語の歴史特論B	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4
現代日本語特論A	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4

現代日本語特論B	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4
社会言語学（日本語）	1	2	2	選択	*7 *9	日		2・3・4
社会言語学（英語）	1	2	2	選択	*9	英		2・3・4
英語学（意味・語用論）	1	2	2	選択	*9	英		2・3・4
英語学（音韻論）	1	2	2	選択	*9	英		2・3・4
英語学（形態・統語論）	1	2	2	選択	*9	英		2・3・4
英語史	1	2	2	選択	*9	英		2・3・4
第二言語習得理論	1	2	2	選択	*9	英		2・3・4
第二言語教育法	1	2	2	選択	*9	英		2・3・4
【文学】								
奈良平安の文学A	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4
奈良平安の文学B	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4
鎌倉室町の文学A	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4
鎌倉室町の文学B	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4
江戸の文学A	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4
江戸の文学B	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4
日本近現代文学A	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4
日本近現代文学B	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4
中国と日本の文学文化A	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4
中国と日本の文学文化B	1	2	2	選択	*7	日		2・3・4
英語文学文化A	1	2	2	選択	*9	英		2・3・4
英語文学文化B	1	2	2	選択	*9	英		2・3・4
【歴史】								
日本古代史	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
日本中近世史	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
日本近現代史	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
日本古代史料論	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
日本中近世史料論	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
日本近現代史料論	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
中国史A	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
中国史B	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
アジア地域史A	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
アジア地域史B	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
ギリシア・ローマ史	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
ヨーロッパ地域史A	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
ヨーロッパ地域史B	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
ヨーロッパ地域史C	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
ヨーロッパ地域史D	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
世界史資料論（アジア）	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
世界史資料論（ヨーロッパ）	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
パブリック・ヒストリー	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
考古学	1	2	2	選択	*15	歴		2・3・4
人文地理学	1	2	2	選択		人		2・3
自然地理学	1	2	2	選択		人		2・3
地誌学	1	2	2	選択		人		2・3
基盤演習								
【人文学科共通必修】								
人文学基礎演習	1	2	2	必修		人	人	1
【文化】								
日本文化演習（くずし字）	1	2	2	選択	*6	日		1・2

日本文化演習(古典と現代)	1	2	2	選択	*6	日		1・2
日本文化演習(古典籍)	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本文化演習(視覚文化) A I	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本文化演習(視覚文化) A II	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本文化演習(視覚文化) B I	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本文化演習(視覚文化) B II	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
創作と批評	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
批評と出版文化	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
【哲学】								
2年次演習Ⅰ(哲学)	1	2	2	選択 必修	哲学専攻は	哲	哲	2
2年次演習Ⅱ(哲学)	1	2	2	選択 必修	哲学専攻は	哲	哲	2
【言語】								
日本語史演習Ⅰ	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本語史演習Ⅱ	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
現代日本語演習Ⅰ	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
現代日本語演習Ⅱ	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本語資料調査	1	2	2	選択	*6	日		2・3
日本語データ分析Ⅰ	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本語データ分析Ⅱ	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
英語音声学	1	2	2	選択	*10	英		1
英語学入門演習	1	2	2	選択	*10	英		1
Pronunciation	1	2	1	選択	*11	英		1・2・3・4
英語教育演習A	1	2	2	選択	*10	英		2・3・4
英語教育演習B	1	2	2	選択	*10	英		2・3・4
英語学演習A	1	2	2	選択	*10	英		2・3・4
英語学演習B	1	2	2	選択	*10	英		2・3・4
English Seminar Writing Ⅰ	1	2	2	選択	英語圏文化 専攻は必修	英	英	2
English Seminar Writing Ⅱ	1	2	2	選択	英語圏文化 専攻は必修	英	英	2
【文学】								
日本古典文学入門演習	1	2	2	選択	*6	日		1
日本古典文学演習A	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本古典文学演習B	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本古典文学演習C	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本古典文学演習D	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本古典文学演習E	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本古典文学演習F	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本近代文学演習AⅠ	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本近代文学演習AⅡ	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本近代文学演習BⅠ	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本近代文学演習BⅡ	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本現代文学演習AⅠ	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本現代文学演習AⅡ	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本現代文学演習BⅠ	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4
日本現代文学演習BⅡ	1	2	2	選択	*6	日		2・3・4

英語文学文化入門演習	1	2	2	選択	*10	英		1
English through Literature	1	2	2	選択	*11	英		2・3・4
英語文学文化演習A	1	2	2	選択	*10	英		2・3・4
英語文学文化演習B	1	2	2	選択	*10	英		2・3・4
英語文学文化演習C	1	2	2	選択	*10	英		2・3・4
英語文学文化演習D	1	2	2	選択	*10	英		2・3・4
【歴史】								
歴史文化基礎演習	1	2	2	選択	歴史文化専攻は必修	歴	歴	1
歴史文化演習（日本古代）AⅠ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（日本古代）AⅡ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（日本古代）BⅠ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（日本古代）BⅡ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（日本近現代）AⅠ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（日本近現代）AⅡ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（日本近現代）BⅠ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（日本近現代）BⅡ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（アジア史）AⅠ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（アジア史）AⅡ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（アジア史）BⅠ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（アジア史）BⅡ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（西洋古代）AⅠ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（西洋古代）AⅡ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（西洋古代）BⅠ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（西洋古代）BⅡ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（西洋近世）AⅠ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（西洋近世）AⅡ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（西洋近世）BⅠ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（西洋近世）BⅡ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（西洋近現代）AⅠ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（西洋近現代）AⅡ	1	2	2	選択	*12	歴	歴	2・3

歴史文化演習（西洋近現代） B I	1	2	2	選択 *12	歴	歴	2・3
歴史文化演習（西洋近現代） B II	1	2	2	選択 *12	歴	歴	2・3
オーラル・ヒストリー	1	2	2	選択	歴		2・3
発展演習							
【哲学文化】							
人文学発展演習（倫理学） A I	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学発展演習（倫理学） A II	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学発展演習（倫理学） B I	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学発展演習（倫理学） B II	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学発展演習（近代哲学） A I	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学発展演習（近代哲学） A II	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学発展演習（近代哲学） B I	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学発展演習（近代哲学） B II	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学発展演習（美学） A I	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学発展演習（美学） A II	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学発展演習（美学） B I	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学発展演習（美学） B II	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学発展演習（現代哲学） A I	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学発展演習（現代哲学） A II	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学発展演習（現代哲学） B I	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学発展演習（現代哲学） B II	1	2	2	選択 *4	哲		3・4
人文学論文演習（哲学） I	1	2	2	選択 哲学専攻は必修	哲	哲	4
人文学論文演習（哲学） II	1	2	2	選択 哲学専攻は必修	哲	哲	4
【言語文化】							
人文学発展演習（日本文学文化） I	1	2	2	選択 日本文学文化専攻は必修	日	日	3
人文学発展演習（日本文学文化） II	1	2	2	選択 日本文学文化専攻は必修	日	日	3
人文学発展演習（英語圏文化） I	1	2	2	選択 英語圏文化専攻は必修	英	英	3
人文学発展演習（英語圏文化） II	1	2	2	選択 英語圏文化専攻は必修	英	英	3
英語教育－多元的アプローチ A	1	2	2	選択 *9	英		3・4

英語教育－多元的アプローチ B	1	2	2	選択 *9	英		3・4
人文学論文演習（日本文学文化）Ⅰ	1	2	2	選択 日本文学文化専攻は必修	日	日	4
人文学論文演習（日本文学文化）Ⅱ	1	2	2	選択 日本文学文化専攻は必修	日	日	4
人文学論文演習（英語圏文化）Ⅰ	1	2	2	選択 英語圏文化専攻は必修	英	英	4
人文学論文演習（英語圏文化）Ⅱ	1	2	2	選択 英語圏文化専攻は必修	英	英	4
【歴史文化】							
人文学発展演習（歴史文化）Ⅰ	1	2	2	選択 歴史文化専攻は必修	歴	歴	3
人文学発展演習（歴史文化）Ⅱ	1	2	2	選択 歴史文化専攻は必修	歴	歴	3
人文学論文演習（歴史文化）Ⅰ	1	2	2	選択 歴史文化専攻は必修	歴	歴	4
人文学論文演習（歴史文化）Ⅱ	1	2	2	選択 歴史文化専攻は必修	歴	歴	4
卒業論文							
卒業論文			8	必修	人	人	4

注 1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

2 哲学専攻の学生は、「*1」印の範囲において10単位、「*2」印の範囲において2単位、「*3」印の範囲において6単位、「*4」印の範囲において8単位を修得しなければならない。ただし、「*4」印の範囲において修得する8単位には、「Ⅰ」を2科目4単位を含めなければならない。

3 日本文学文化専攻の学生は、「*5」「*6」「*7」から合わせて24単位修得しなければならない。ただし、「*5」印の範囲において4単位、「*6」印の範囲において10単位を含めなければならない。

4 英語圏文化専攻の学生は、「*8」「*9」「*10」「*11」から合わせて28単位修得しなければならない。ただし、「*8」印の範囲において6単位、「*9」印の範囲において6単位、「*10」印の範囲において6単位を含めなければならない。

5 歴史文化専攻の学生は、「*12」「*13」「*14」「*15」から合わせて22単位修得しなければならない。ただし、「*12」印の範囲において8単位、「*13」印の範囲において2単位、「*14」印の範囲において2単位を含めなければならない。

6 「ドイツの歴史と文化A」、「ドイツの歴史と文化B」を履修するには、「ドイツ語初級1」及び「ドイツ語初級2」の2科目計3単位を修得していなければならない。

7 「中国と日本の文学文化A」、「中国と日本の文学文化B」を履修するには、「中国語初級1」及び「中国語初級2」の2科目計3単位を修得していなければならない。

8 人文学科の学生は、自学科科目のうち、必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて60単位を修得しなければならない。

9 人文学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数124単位のうち所定の科目の単位を含む84単位を修得しなければならない。

(イ) 国際社会学科

授業科目名	授業期間 (15週単位)	毎週授業時間	単位数	必修・選択必修・ 選択の別	学科 指定	履修年次
入門						
国際関係論Ⅰ	1	2	2	必修		1
国際関係論Ⅱ	1	2	2	必修		1
文化人類学Ⅰ	1	2	2	必修		1
文化人類学Ⅱ	1	2	2	必修		1
基盤講義						
政治学概論	1	2	2	選択		1・2
法学概論	1	2	2	選択		1・2

国際関係史	1	2	2	選択		1・2
国際社会方法論入門	1	2	2	選択		1・2
平和学	1	2	2	選択		1・2
日本の社会と文化（日本史概論）	1	2	2	選択		1・2
中国の社会と文化（東洋史概論）	1	2	2	選択		1・2
朝鮮の社会と文化（東洋史概論）	1	2	2	選択		1・2
グローバルヒストリー（西洋史概論）	1	2	2	選択		1・2
アメリカの社会と文化（アメリカ社会基礎論）	1	2	2	選択		1・2
東アジア社会基礎論	1	2	2	選択		1・2
東南アジア社会基礎論	1	2	2	選択		1・2
多文化コミュニケーションデザイン	1	2	2	選択		1・2
言語の多様性と普遍性	1	2	2	選択		1・2
応用講義						
【国際関係学】						
ジェンダー国際関係論	1	2	2	選択		2・3
国際関係法Ⅰ	1	2	2	選択		2・3
国際関係法Ⅱ	1	2	2	選択		2・3
国際機構論	1	2	2	選択		2・3
現代アメリカ政治論	1	2	2	選択		2・3
アジア国際関係論	1	2	2	選択		2・3
開発経済学Ⅰ	1	2	2	選択		2・3
開発経済学Ⅱ	1	2	2	選択		2・3
国際開発論Ⅰ	1	2	2	選択		2・3
国際開発論Ⅱ	1	2	2	選択		2・3
欧州統合論	1	2	2	選択		2・3
日本政治外交史Ⅰ	1	2	2	選択		2・3
日本政治外交史Ⅱ	1	2	2	選択		2・3
朝鮮政治外交史Ⅰ	1	2	2	選択		2・3
朝鮮政治外交史Ⅱ	1	2	2	選択		2・3
中国政治外交史Ⅰ	1	2	2	選択		2・3
中国政治外交史Ⅱ	1	2	2	選択		2・3
【地域研究】						
アメリカ史Ⅰ	1	2	2	選択		2・3
アメリカ史Ⅱ	1	2	2	選択		2・3
香港・台湾論	1	2	2	選択		2・3
現代中国論	1	2	2	選択		2・3
現代韓国論	1	2	2	選択		2・3
現代アメリカの動態	1	2	2	選択		2・3
【文化人類学】						
民族誌特論	1	2	2	選択		2・3
人類学史・質的研究	1	2	2	選択		2・3
政治人類学	1	2	2	選択		2・3
人権・人道の人類学	1	2	2	選択		2・3
南アジア社会特論	1	2	2	選択		2・3
イスラム社会特論	1	2	2	選択		2・3
民族と現代世界	1	2	2	選択		2・3
【日本語教育】						
日本語教育研究概論Ⅰ	1	2	2	選択		2・3
日本語教育研究概論Ⅱ	1	2	2	選択		2・3
【教職関連科目】						

人文地理学	1	2	2	選択		2・3
自然地理学	1	2	2	選択		2・3
地誌学	1	2	2	選択		2・3
発展講義						
【国際関係学】						
国際政治経済Ⅰ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
国際政治経済Ⅱ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
比較政治学Ⅰ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
比較政治学Ⅱ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
近現代日本研究Ⅰ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
近現代日本研究Ⅱ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
アメリカ研究（政治・外交）Ⅰ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
アメリカ研究（政治・外交）Ⅱ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
国際平和研究Ⅰ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
国際平和研究Ⅱ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
国際協力とジェンダーⅠ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
国際協力とジェンダーⅡ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
人間の安全保障Ⅰ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
人間の安全保障Ⅱ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
【地域研究】						
朝鮮研究Ⅰ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
朝鮮研究Ⅱ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
アメリカ研究（社会史）Ⅰ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
アメリカ研究（社会史）Ⅱ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
中国研究Ⅰ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
中国研究Ⅱ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
【文化人類学】						
周縁世界とグローバル化Ⅰ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
周縁世界とグローバル化Ⅱ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
地域比較文化論	1	2	2	選択必修 *1		3・4
医療人類学	1	2	2	選択必修 *1		3・4
【日本語教育】						
日本語教育研究Ⅰ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
日本語教育研究Ⅱ	1	2	2	選択必修 *1		3・4
特別科目						
実践時事英語Ⅰ	1	4	4	選択		1・2・3・4
実践時事英語Ⅱ	1	4	4	選択		1・2・3・4
海外研修	1	2	2	選択		2・3・4
基盤演習						
基礎演習（国際社会）Ⅰ	1	2	2	必修	国	1
基礎演習（国際社会）Ⅱ	1	2	2	必修	国	1
2年次演習（国際社会）Ⅰ	1	2	2	必修	国	2
2年次演習（国際社会）Ⅱ	1	2	2	必修	国	2
発展演習						
3年次演習（国際社会）Ⅰ	1	2	2	必修	国	3
3年次演習（国際社会）Ⅱ	1	2	2	必修	国	3
4年次演習（国際社会）Ⅰ	1	2	2	必修	国	4
4年次演習（国際社会）Ⅱ	1	2	2	必修	国	4
日本語教育実習	2	2	4	選択		4
卒業論文						
卒業論文			8	必修	国	4

注 1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

2 「*1」印の範囲において6単位を修得しなければならない。

- 3 国際社会学科の学生は、自学科科目の必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて 60 単位を修得しなければならない。
- 4 国際社会学科の学生が 4 年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数 124 単位のうち所定の科目の単位を含む 84 単位を修得しなければならない。

(ウ)経済経営学科

授業科目名	授業期間 (15 週単位)	毎週授 業時間	単位数	必修・選択必 修・選択の別	学科 指定	履修年次
入門						
経済経営地域デザイン概論	1	2	2	必修	経	1
【経済学】						
ミクロ経済学入門	1	2	2	必修		1
マクロ経済学入門	1	2	2	必修		1
【経営学】						
経営学入門	1	2	2	必修		1
マーケティング入門	1	2	2	必修		1
【地域デザイン】						
公共政策論	1	2	2	必修		1
まちづくりとコミュニティ	1	2	2	必修		1
サステナビリティとグローバル共生	1	2	2	必修		1
基盤講義						
【経済学】						
初級ミクロ経済学	1	2	2	選択必修 *1		2・3
初級マクロ経済学	1	2	2	選択必修 *1		2・3
経済の数学	1	2	2	選択必修 *1		2・3
統計学	1	2	2	選択必修 *1		2・3
財政学	1	2	2	選択必修 *1		2・3
公共経済学	1	2	2	選択必修 *1		2・3
経済政策	1	2	2	選択必修 *1		2・3
【経営学】						
経営戦略論	1	2	2	選択必修 *1		2・3
経営組織論	1	2	2	選択必修 *1		2・3
会計学基礎	1	2	2	選択必修 *1		2・3
ファイナンス基礎	1	2	2	選択必修 *1		2・3
【地域デザイン】						
コミュニティと情報メディア	1	2	2	選択必修 *1		2・3
官民パートナーシップ	1	2	2	選択必修 *1		2・3
観光法制度論	1	2	2	選択必修 *1		2・3
発展講義						
【経済学】						
経済史	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
中級ミクロ経済学	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
中級マクロ経済学	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
日本経済論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
国際経済学	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
開発経済学 I	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
計量経済学	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
環境経済学	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
労働経済学	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4

金融論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
産業組織論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
ゲームの理論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
企業の経済学	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
都市・地域経済学	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
ジェンダーの経済学	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
福祉の経済学	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
現代経済論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
新興地域経済論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
アジア地域経済論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
国際地域経済論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
日本経済史	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
保険論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
証券論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
【経営学】						
経営管理論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
人的資源管理論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
消費者行動論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
ブランド論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
流通論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
組織行動論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
リーダーシップ論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
財務管理論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
簿記論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
財務会計	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
管理会計	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
監査論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
国際経営	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
コーポレートガバナンス	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
イノベーションマネジメント	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
起業論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
中小企業論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
ソーシャルビジネス論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
環境経営論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
経営史	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
【地域デザイン】						
実践的研究計画法（研究計画）	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
実践的研究計画法（研究構想）	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
コミュニティ調査実習（企画・立案・設計）	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
コミュニティ調査実習（実査と分析）	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
地域政策とまちづくり	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
コミュニティとジェンダー	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
創造都市論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
余暇ツーリズム論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
ツーリズムとジェンダー	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
地域社会論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
サステナビリティと地域社会	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
ソーシャル・キャピタル論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4

コミュニティデザイン論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
地理学とジェンダー	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
インバウンド・ツーリズム論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
持続可能な観光地域づくり	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
環境政策概論	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
世界遺産学 A	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
世界遺産学 B	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
都市フィールドワーク	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
【法律】						
経済法	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
企業法	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
労働法	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
行政と法	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
市民参加と法	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
基盤演習						
基礎演習Ⅰ	1	2	2	必修	経	1
基礎演習Ⅱ	1	2	2	必修	経	1
2年次拠点実習Ⅰ	1	2	2	必修	経	2
2年次拠点実習Ⅱ	1	2	2	必修	経	2
発展演習						
3年次演習Ⅰ	1	2	2	必修	経	3
3年次演習Ⅱ	1	2	2	必修	経	3
4年次演習Ⅰ	1	2	2	必修	経	4
4年次演習Ⅱ	1	2	2	必修	経	4
卒業論文						
卒業論文			8	必修	経	4

注 1 1年次の自学科科目の履修は、20単位を上限とする。

2 「*1」印の範囲において12単位を修得しなければならない。

3 「*2」印の範囲において8単位を修得しなければならない。

4 経済経営学科の学生は、自学科科目の必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて60単位を修得しなければならない。

5 経済経営学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数124単位のうち所定の科目の単位を含む84単位を修得しなければならない。

(エ)心理学科

授業科目名	授業期間 (15週単位)	毎週授 業時間	単位数	必修・選択必 修・選択の別	学科 指定	履修年次
入門						
心理学概論	1	2	2	必修		1
基盤講義						
発達心理学概論	1	2	2	必修		1
臨床心理学概論	1	2	2	必修		1
知覚・認知心理学概論	1	2	2	必修		1
社会心理学概論(社会・集団・家族心理学)	1	2	2	必修		1
心理学統計法1	1	2	2	必修	心	1
心理学統計法2	1	2	2	必修	心	2
発展講義						
認知心理学						
思考心理学	1	2	2	選択必修 *1		2・3・4
知覚心理学	1	2	2	選択必修 *1		2・3・4

神経・生理心理学	1	2	2	選択必修 *1		2・3・4
認知心理学	1	2	2	選択必修 *1		2・3・4
学習・言語心理学	1	2	2	選択必修 *1		2・3・4
社会心理学						
社会心理学（個人内過程）	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
社会心理学（対人過程）	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
社会心理学（マクロ・集団）	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
社会心理学（応用）	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
発達心理学						
発達心理学（情動発達）	1	2	2	選択必修 *3		2・3・4
発達心理学（社会発達）	1	2	2	選択必修 *3		2・3・4
発達心理学（認知発達）	1	2	2	選択必修 *3		2・3・4
教育・学校心理学	1	2	2	選択必修 *3		2・3・4
臨床心理学						
心理学的支援法	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
家族心理学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
産業・組織心理学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
健康・医療心理学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
複合領域						
感情・人格心理学	1	2	2	選択		2・3・4
障害者・障害児心理学	1	2	2	選択		2・3・4
精神疾患とその治療	1	2	2	選択		2・3・4
福祉心理学	1	2	2	選択		2・3・4
司法・犯罪心理学	1	2	2	選択		2・3・4
基盤演習						
1 年次演習（心理学）	1	2	2	必修	心	1
2 年次演習（心理学） A	1	2	2	必修	心	2
2 年次演習（心理学） B	1	2	2	必修	心	2
心理学実験入門（心理学研究法 I）	1	2	2	必修	心	1
心理学基礎実習（心理学研究法 II）	1	2	2	必修	心	1
発展演習						
3 年次演習（心理学）	1	2	2	必修	心	3
4 年次演習（心理学） A	1	2	2	必修	心	4
4 年次演習（心理学） B	1	2	2	必修	心	4
実験・実習						
心理的アセスメント	0.5	4	2	必修	心	2
心理学実験演習 I A	0.5	4	2	必修	心	2
心理学実験演習 I B	1	4	4	必修	心	2
心理学実験演習 II	1	2	2	必修	心	3
心理学特殊実験演習	1	4	4	必修	心	3
卒業論文						
卒業論文			8	必修	心	4
公認心理師特設科目						
公認心理師の職責 **	1	2	2	選択	心	2
人体の構造と機能及び疾病 **	1	2	2	選択	心	2・3・4
公認心理師に関する法律と制度（関係行政論） **	1	2	2	選択	心	2・3・4
心理演習 ***	1	2	2	選択	心	3
心理実習 ***	2	4	4	選択	心	4

注 1 1 年次の自学科科目の履修は、20 単位を上限とする。

2 「*1」印の範囲において 2 単位を修得しなければならない。

- 3 「*2」印の範囲において2単位を修得しなければならない。
- 4 「*3」印の範囲において2単位を修得しなければならない。
- 5 「*4」印の範囲において2単位を修得しなければならない。
- 6 「心理学統計法2」を履修するためには、「心理学統計法1」2単位を修得していなければならない。
- 7 公認心理師特設科目(**印及び***印の科目)を履修するには、所定の公認心理師課程登録を行っていないといけない。
- 8 ***印の「心理演習」、「心理実習」の単位は、卒業に必要な単位(心理学科科目及び自由選択科目)として数えられない。
- 9 心理学科の学生は、自学科科目の必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて60単位を修得しなければならない。
- 10 心理学科の学生が4年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数124単位のうち所定の科目を含む84単位を修得しなければならない。

(オ)社会コミュニケーション学科

授業科目名	授業期間 (15週単位)	毎週授業時間	単位数	必修・選択必修・ 選択の別	学科 指定	履修年次
入門						
社会コミュニケーション概論	1	2	2	必修	社	1
基盤講義						
社会学のあゆみⅠ	1	2	2	選択必修 *1		1・2・3
社会学のあゆみⅡ	1	2	2	選択必修 *1		1・2・3
メディアコミュニケーション概論	1	2	2	選択必修 *1		1・2・3
情報デザイン概論	1	2	2	選択必修 *1		1・2・3
共生社会概論	1	2	2	選択必修 *1		1・2・3
社会調査法入門A	1	2	2	選択必修 *1		1・2・3
社会調査法入門B	1	2	2	選択必修 *1		1・2・3
発展講義						
【学科共通】						
社会データサイエンス入門	1	2	2	必修		2・3・4
質的研究法	1	2	2	選択必修 *2 *4		2・3・4
社会コミュニケーション先端トピックA	1	2	2	選択必修 *3 *4		1・2・3・4
社会コミュニケーション先端トピックB	1	2	2	選択必修 *3 *4		1・2・3・4
【社会学】						
現代社会論	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
日本社会論	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
家族社会学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
ケアの社会学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
地域社会学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
都市社会学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
デモクラシーの社会学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
シティズンシップの社会学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
労働社会学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
グローバル化と労働	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
ジェンダーとセクシュアリティの社会学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
文化社会学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
ライフコースの社会学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
福祉社会学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
臨床社会学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
国際社会学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4

社会問題の社会学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
情報社会論	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
【メディア情報】						
メディア史	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
メディア社会論	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
グローバルメディア	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
政治とメディア	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
ジャーナリズムと現代社会	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
リスクコミュニケーション	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
広告論	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
メディア文化論	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
ジェンダーとメディア	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
メディアとことば	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
ソーシャルメディアとコミュニ ティデザイン	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
ソーシャルメディアと現代社会	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
現代社会のサイバーセキュリテ イ	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
コミュニケーションとキャリア	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
デザイン思考Ⅰ	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
デザイン思考Ⅱ	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
デザイン心理A	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
デザイン心理B	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
ユーザ体験とユーザインターフ ェース	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
ユーザニーズ分析	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
ICT リテラシーA	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
ICT リテラシーB	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
マルチメディアと表現Ⅰ	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
マルチメディアと表現Ⅱ	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
Web での情報表現	1	2	2	選択必修 *4		1・2・3・4
Media Literacy	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
メディアと経済	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
【共生社会と人間】						
共生社会と人間行動（ダイバー シティ）	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
共生社会と人間行動（インクル ージョン）	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
共生社会と心理（マクロ：集 団・社会）	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
共生社会と心理（ミクロ：個 人・対人）	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
共生社会と心理（文化）	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
エイジングの心理学	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
子どもと社会	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
ダイバーシティとコミュニケー ション	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
対人コミュニケーション（ジェ ンダー・セクシュアリティ）	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
対人コミュニケーション（家 族・共同体）	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
対人コミュニケーション（公共 社会）	1	2	2	選択必修 *4		2・3・4
基盤演習						

1 年次演習（社会コミュニケーション）	1	2	2	必修	社	1
2 年次演習（社会コミュニケーション）	1	2	2	必修	社	2
社会データサイエンス A	1	2	2	必修		2
社会データサイエンス B	1	2	2	選択必修 *2		3・4
社会コミュニケーション実習（実験法）	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
社会コミュニケーション実習（内容分析）	1	2	2	選択必修 *2		2・3・4
共生社会デザイン（ダイバーシティ）	1	2	2	選択		2・3・4
共生社会デザイン（インクルージョン）	1	2	2	選択		2・3・4
ユニバーサルデザイン A	1	2	2	選択		2・3・4
ユニバーサルデザイン B	1	2	2	選択		2・3・4
Web プログラミング I	1	2	2	選択		2・3・4
Web プログラミング II	1	2	2	選択		2・3・4
日本語データ分析 I	1	2	2	選択		2・3・4
日本語データ分析 II	1	2	2	選択		2・3・4
発展演習						
3 年次演習（社会コミュニケーション） I	1	2	2	必修	社	3
3 年次演習（社会コミュニケーション） II	1	2	2	必修	社	3
4 年次演習（社会コミュニケーション） I	1	2	2	必修	社	4
4 年次演習（社会コミュニケーション） II	1	2	2	必修	社	4
社会コミュニケーション実習 I	1	2	2	選択必修 *2	社	3
社会コミュニケーション実習 II	1	2	2	選択必修 *2	社	3
卒業論文						
卒業論文			8	必修	社	4

注 1 1 年次の自学科科目の履修は、20 単位を上限とする。

2 「*1」印の範囲において 8 単位を修得しなければならない。

3 「*2」印の範囲において 6 単位を修得しなければならない。

4 「*3」印の範囲において 2 単位を修得しなければならない。

5 「*4」印の範囲において 18 単位を修得しなければならない。

6 社会コミュニケーション学科の学生は、自学科科目の必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて 60 単位を修得しなければならない。

7 社会コミュニケーション学科の学生が 4 年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数 124 単位のうち所定の科目の単位を含む 84 単位を修得しなければならない。

(カ) 情報数理科学科

授業科目名	授業期間 (15 週単位)	毎週授 業時間	単位数	必修・選択必 修・選択の別	学科 指定	履修年次
情報数理科学：基礎						
微分積分学 I	1	2	2	必修		1
微分積分学 II	1	2	2	必修		1
線形代数学 I	1	2	2	必修		1
線形代数学 II	1	2	2	必修		1
数学演習 I	1	2	1	必修		1
数学演習 II	1	2	1	必修		1

集合と写像	1	2	2	必修		1
情報学概論	1	2	2	必修		1
CプログラミングⅠ	1	2	2	必修		1
情報数理学：発展						
微分積分学Ⅲ	1	2	2	選択必修 *1		2
微分積分学Ⅳ	1	2	2	選択必修 *1		2
確率統計Ⅰ	1	2	2	選択必修 *1		2
確率統計Ⅱ	1	2	2	選択必修 *1		2
グラフ理論	1	2	2	選択必修 *1		2
現代数理学Ⅰ	1	2	2	選択		3・4
現代数理学Ⅱ	1	2	2	選択		3・4
確率特論A	1	2	2	選択		3・4
確率特論B	1	2	2	選択		3・4
統計特論A	1	2	2	選択		3・4
統計特論B	1	2	2	選択		3・4
情報科学						
CプログラミングⅡ	1	2	2	選択必修 *2		2
コンピュータアーキテクチャ	1	2	2	選択必修 *2		2
デジタル画像処理	1	2	2	選択必修 *2		2
データベース	1	2	2	選択必修 *2		2
コンピュータ化学Ⅰ	1	2	2	選択必修 *2		2
コンピュータ化学Ⅱ	1	2	2	選択必修 *2		2
数値計算	1	2	2	選択必修 *2		2
計算生物学	1	2	2	選択必修 *2		2
オペレーティングシステム	1	2	2	選択必修 *2		2
アルゴリズムとデータ構造	1	2	2	選択必修 *2		2
数理モデルとシミュレーションA	1	2	2	選択		3・4
数理モデルとシミュレーションB	1	2	2	選択		3・4
コンピュータネットワーク	1	2	2	選択		3・4
オートマトン	1	2	2	選択		3・4
コンピュータグラフィックス	1	2	2	選択		3・4
ソフトウェア工学	1	2	2	選択		3・4
AⅠ・データサイエンス						
最適化の数理	1	2	2	選択必修 *3		2
機械学習	1	2	2	選択必修 *3		2
人工知能概論	1	2	2	選択必修 *3		2
統計モデリング	1	2	2	選択必修 *3		2
情報分析と可視化	1	2	2	選択必修 *3		2
時系列データ解析	1	2	2	選択		3・4
深層学習	1	2	2	選択		3・4
情報検索	1	2	2	選択		3・4
画像データ解析	1	2	2	選択		3・4
テキストデータ解析	1	2	2	選択		3・4
数理学						
解析学Ⅰ	1	2	2	選択必修 *4		2
代数学Ⅰ	1	2	2	選択必修 *4		2
代数学Ⅱ	1	2	2	選択必修 *4		2
位相数学Ⅰ	1	2	2	選択必修 *4		2
位相数学Ⅱ	1	2	2	選択必修 *4		2

化学概論	1	2	2	選択必修 *4		1
生物学概論	1	2	2	選択必修 *4		1
物理学概論	1	2	2	選択必修 *4		1
電磁気学	1	2	2	選択必修 *4		2
量子力学（基礎）	1	2	2	選択必修 *4		2
熱・統計力学	1	2	2	選択必修 *4		2
数理生物学	1	2	2	選択必修 *4		2
解析学Ⅱ	1	2	2	選択		3・4
応用解析学A	1	2	2	選択		3・4
応用解析学B	1	2	2	選択		3・4
代数学Ⅲ	1	2	2	選択		3・4
代数学特論	1	2	2	選択		3・4
幾何学Ⅰ	1	2	2	選択		3・4
幾何学Ⅱ	1	2	2	選択		3・4
相対性理論	1	2	2	選択		3・4
量子力学（発展）	1	2	2	選択		3・4
物理化学	1	2	2	選択		2・3・4
現代生物学A	1	2	2	選択		3・4
現代生物学B	1	2	2	選択		3・4
量子化学	1	2	2	選択		2・3・4
基盤演習						
1 年次演習	1	2	2	必修	情	1
講究						
情報数理学講究 1	1	4	4	必修	情	4
情報数理学講究 2	1	4	4	必修	情	4

注 1 1 年次の自学科科目の履修は、20 単位を上限とする。

2 「*1」印の範囲において 4 単位を修得しなければならない。

3 「*2」印の範囲において 4 単位を修得しなければならない。

4 「*3」印の範囲において 4 単位を修得しなければならない。

5 「*4」印の範囲において 4 単位を修得しなければならない。

6 「情報数理学講究 2」を履修するには、「情報数理学講究 1」4 単位を修得していなければならない。

7 情報数理学科の学生は、自学科科目の必修科目、選択必修科目、選択科目合わせて 68 単位修得しなければならない。

8 情報数理学科の学生が 4 年次に進級するには、前年度末までに、卒業に必要な単位数 124 単位のうち所定の科目の単位を含む 84 単位を修得しなければならない。

（1 1）教職課程科目

授業科目名	授業期間 (15 週単位)	毎週 授業 時間	単位数	必修・選択必修・選 択の別	学科・ 専攻指定	履修年次
各教科の指導法						
英語科教育法ⅠA *	1	2	2	選択必修（中・高 英語必修）	英	2・3
英語科教育法ⅠB *	1	2	2	選択必修（中・高 英語必修）	英	2・3
英語科教育法ⅡA *	1	2	2	選択必修（中 英語 必修）	英	2・3
英語科教育法ⅡB *	1	2	2	選択必修（中 英語 必修）	英	2・3
宗教科教育法ⅠA *	1	2	2	選択必修（中 宗 教必修）	哲	2・3

宗教科教育法ⅠB *	1	2	2	選択必修 高 宗教 2 単位必 修)	哲	2・3
宗教科教育法ⅡA *	1	2	2	選択必修 (中 宗教 必修)	哲	2・3
宗教科教育法ⅡB *	1	2	2	選択必修 (中・高 宗教必修)	哲	2・3
国語科教育法ⅠA *	1	2	2	選択必修 (中・高 国語必修)	日	2・3
国語科教育法ⅠB *	1	2	2	選択必修 (中・高 国語必修)	日	2・3
国語科教育法ⅡA *	1	2	2	選択必修 (中 国語 必修)	日	2・3
国語科教育法ⅡB *	1	2	2	選択必修 (中 国語 必修)	日	2・3
社会・地理歴史科教育法Ⅰ *	1	2	2	選択必修 (中社会 ・高地歴必修)	哲・ 歴・国	2・3
社会・地理歴史科教育法Ⅱ *	1	2	2	選択必修 (中社会 ・高地歴必修)	哲・ 歴・国	2・3
社会・公民科教育法Ⅰ *	1	2	2	選択必修 (中社会 ・高公民必修)	哲・ 歴・国	2・3
社会・公民科教育法Ⅱ *	1	2	2	選択必修 (中社会 ・高公民必修)	哲・ 歴・国	2・3
情報科教育法Ⅰ *	1	2	2	選択必修 (高 情報 必修)	情	2・3
情報科教育法Ⅱ *	1	2	2	選択必修 (高 情報 必修)	情	2・3
数学科教育法ⅠA *	1	2	2	選択必修 (中 数学 必修)	情	2・3
数学科教育法ⅠB *	1	2	2	選択必修 (中・高 数学必修)	情	2・3
数学科教育法ⅡA *	1	2	2	選択必修 (中 数学 必修 高 数学 2 単位必 修)	情	2・3
数学科教育法ⅡB *	1	2	2	選択必修 (中 数学 必修 高 数学 2 単位必 修)	情	2・3
教育の基礎的理解に関する科目						
教育原論	1	2	2	必修	人・ 国・情	2・3・4
教職論	1	2	2	必修	人・ 国・情	1・2・3
教育社会学	1	2	2	必修	人・ 国・情	2・3・4
教育心理学	1	2	2	必修	人・ 国・情	2・3・4
特別支援教育	1	2	2	必修	人・ 国・情	1・2・3
教育課程論 *	1	2	2	必修	人・ 国・情	2・3
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目						
道徳教育の理論と方法 *	1	2	2	必修 (中学 必修)	人・ 国・情	2・3・4
総合的な学習（探究）の時間 の指導法 *	1	2	2	必修	人・ 国・情	2・3・4
特別活動論 *	1	2	2	必修	人・ 国・情	2・3・4

生徒・進路指導論 *	1	2	2	必修	人・国・情	2・3・4
教育相談 *	1	2	2	必修	人・国・情	2・3
教育方法論（ICT の活用を含む） *	1	2	2	必修	人・国・情	2・3
教育実践に関する科目						
教育実習事前事後指導 *	1	1	1	必修	人・国・情	3
教育実習 *	1		4	必修	人・国・情	4
教職実践演習（中・高） *	1	2	2	必修	人・国・情	4

注 1 2 年次以上で教職課程科目（「教職論」を除く。）を履修するには、所定の教職課程登録を行っていないなければならない。

2 「教育実習」を履修するには、以下の科目を含む上記教職課程科目 27 単位を 3 年次修了までに修得していなければならない。

各教科の指導法 6 単位、「教職論」2 単位、「特別支援教育」2 単位、「教育課程論」2 単位、「教育相談」2 単位、「教育方法論（ICT の活用を含む）」2 単位、「教育実習事前事後指導」1 単位

3 *印の授業科目の単位は、自由選択科目の単位として数えることはできない。

4 介護等の体験を行うためには、「特別支援教育」2 単位、「教育相談」2 単位の計 4 単位を介護等の体験を行う年度の前年度末までに修得していなければならない。

（1 2）学芸員課程科目

授業科目名	授業期間 (15 週単位)	毎週授業時間	単位数	必修・選択必修・選択 の別	履修年次
博物館概論	1	2	2	必修	2
博物館資料論	1	2	2	必修	2
博物館経営論	1	2	2	必修	2・3
博物館資料保存論	1	2	2	必修	2・3
博物館展示論	1	2	2	必修	2・3
博物館教育論	1	2	2	必修	2・3
生涯学習論	1	2	2	必修	2・3・4
博物館情報・メディア論	1	2	2	必修	2・3・4
博物館実習 1 *	1	2	1	必修	3
博物館実習 2 **	1	2	1	必修	3
博物館実習 3 ***	2		1	必修	4

注 1 学芸員課程科目を履修するには、2 年次始めに所定の学芸員課程登録を行っていないなければならない。

2 *印の「博物館実習 1」を履修するには、上記必修科目のうち、次の 4 科目計 8 単位を修得していなければならない。

「博物館概論」及び「博物館資料論」の 2 科目計 4 単位

「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」のうち 2 科目計 4 単位

3 **印の「博物館実習 2」を履修するには、上記必修科目のうち、次の 5 科目計 9 単位を修得していなければならない。

「博物館概論」及び「博物館資料論」の 2 科目計 4 単位

「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、「博物館教育論」のうち 2 科目計 4 単位

「博物館実習 1」1 単位

- 4 ***印の「博物館実習 3」を履修するには、上記必修科目のうち、次の 8 科目計 14 単位並びに東京女子大学学芸員資格取得に関する内規に定める選択科目 4 単位を修得していなければならない。
「博物館概論」、「博物館資料論」、「博物館経営論」、「博物館資料保存論」、
「博物館展示論」、「博物館教育論」、「博物館実習 1」、「博物館実習 2」
- 5 *印の「博物館実習 1」、**印の「博物館実習 2」及び***印の「博物館実習 3」の単位は、自由選択科目の単位として数えることはできない。

別表第2 (第60条第1項第5号関係)

技能審査等における成果に係る学修の単位認定

(1) 第二外国語の単位認定

外国語	技能審査等の種類	基準	認定科目及び認定単位数	
			入学前に資格を取得した場合	入学後に資格を取得した場合
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験	3級	該当言語の初級1および初級2 計3単位 ドイツ語 フランス語 スペイン語 中国語 韓国語	該当言語の初級1および初級2 計3単位。 ただし、単位を未修得の場合に限り認定する。 ドイツ語 フランス語 スペイン語 中国語 韓国語
フランス語	実用フランス語技能検定試験	3級		
スペイン語	スペイン語技能検定試験	4級		
中国語	中国語検定試験	3級		
韓国語	韓国語能力試験	2級		
	「ハングル」能力検定試験	4級	入学時の前期履修登録期間開始日前に申請すること	資格取得直後の前期履修登録期間開始日前又は9月30日までに申請すること (土曜日、日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その前日とする。)

注 編入学者及び学士入学者のうち次の者については、上記単位認定の対象とはしない。

- ①2年次に編入学又は学士入学した者
- ②3年次に編入学した者で、第61条により第二外国語必修3単位を認定された者
- ③3年次に学士入学した者